

東京音楽大学

2024  
CAMPUS  
GUIDE

# 音楽のチカラを信じよう。

音楽のチカラで、自分を高めよう。  
音楽のチカラで、仲間を増やそう。  
音楽のチカラで、社会に貢献しよう。  
音楽のチカラで、世の中を動かそう。  
音楽のチカラで、国境を越えよう。

音楽のチカラで、未来をつくろう。



東京音楽大学創立115周年特別演奏会  
～音楽のチカラで未来をつくろう～

2022年10月13日・14日 サントリーホール

## 音楽学部音楽学科

<b>声楽専攻</b>	• 声楽芸術コース	6	作曲	• 芸術音楽コース	14	学長メッセージ/建学の精神と理念	2	キャリア教育	32
	• 声楽特別演奏家コース			• ミュージック・メディアコース	16	/ビジョン/沿革		就職支援	33
	<b>鍵盤楽器</b>	• ピアノ演奏家コース	8	指揮	18	都心に2つのキャンパス	4	進路先/採用者メッセージ	34
	• ピアノ					生涯を通した一貫教育	5	奨学金/学費/学生寮/その他	36
	• ピアノ・創作コース					カリキュラム構成	26	大学院〔修士課程〕	38
	• チェンバロ・オルガン		<b>音楽文化教育専攻</b>			グローバル教育	28	大学院〔博士後期課程〕	41
<b>器楽専攻</b>			<b>ミュージック・リベラルアーツ専攻</b>			マスタークラス	29	コンクール	42
	<b>弦楽器</b>		<b>吹奏楽アカデミー専攻</b>			教職課程	30	卒業生メッセージ	44
	<b>管打楽器</b>		<b>ミュージックビジネス・テクノロジー専攻</b>	裏表紙				キャンパス/施設	46

# 音楽を学ぶことで、 人間としての力を高めてほしい。



東京音楽大学によこそ。新たに学長を拝命した野平一郎です。音楽を学ぶことは、他のどの学問や芸術の他の表現領域と同様、長い道のりです。それは皆さん生きていくこととほとんど同じことだと言えるでしょう。演奏、創作、研究、このどの分野においても我われ音楽家は過去を学び、現在を生きながら、未来を切り拓こうとします。このためには、まず人間としての総合的な力、基礎的な力、それと同時によりも鋭い感性を身につけていくことが重要となります。

創造的な活動を行なっていくためには、健康でいること、健全な精神を持っていることもとても重要です。なによりも皆さんが蓄えている若いエネルギー、情熱を存分にぶつけてください。そうすれば自ずと道が切り開かれて行くはずです。もし皆さんが音楽の学習を通じて今後より幅広い社会へと飛び立っていくとしても、以上のこととはとても大切なことです。

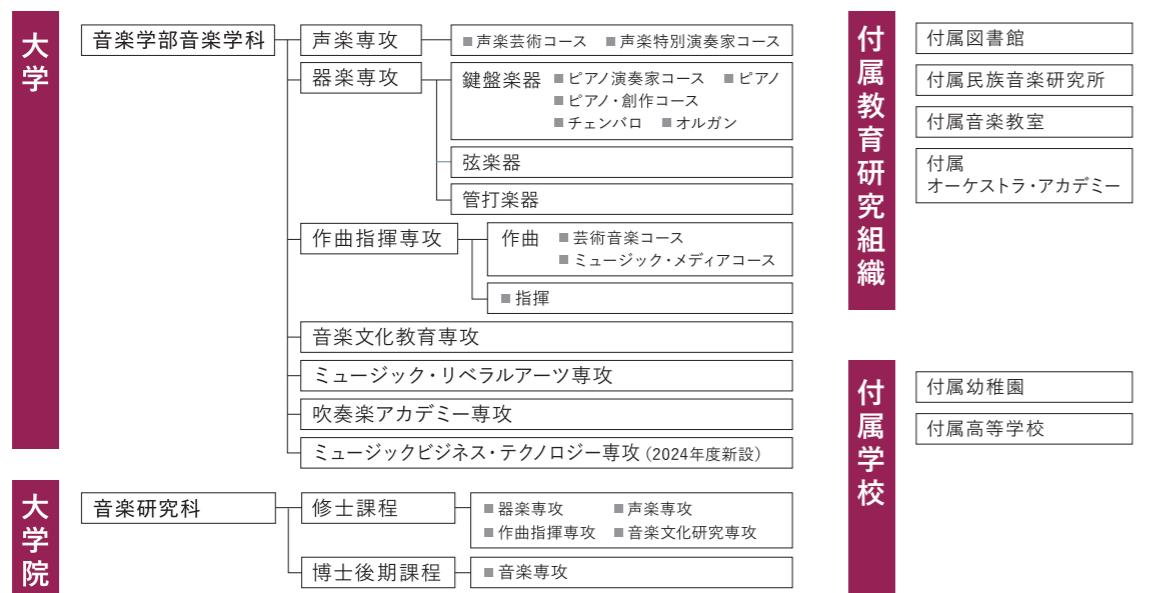
東京音楽大学では、すてきなキャンパスライフが待っていることでしょう。すばらしい先生方のレッスンと同時に、音楽の専門だけにとどまらない多種多様な授業も用意されています。自分の専攻以外のことを知るすばらしいチャンスにもなりますし、国際的な感覚もぜひ磨いてください。ぜひ本学で、人間として、そして音楽家としての力を高めていってほしいと願っております。

学長 野平 一郎

## 建学の精神と理念

東京音楽大学は、鈴木米次郎により1907年に設立された東洋音楽学校を前身とする、日本で最も古い歴史をもつ私立音楽大学です。

本学は「音楽を通して社会に貢献する」という理念に基づき、西洋音楽に関する学問の探求と高度な音楽技量の修得を通じて教養豊かな音楽家および音楽教育者を育成してまいりました。この建学の精神は「アカデミズムと実学の両立」「音楽による社会貢献」「国際性」という教育の基本理念として、現在の学則と教育にも反映され、その結果、本学は国内外の著名なコンクールやオーディションなどの入賞者、入選者を例年多数輩出し、音楽界、教育界だけでなく、国内外の経済界にも優秀な人材を送り出しています。



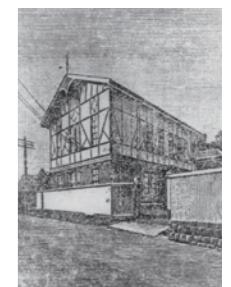
## 東京音楽大学ビジョン

### — 音楽文化の新たな地平を拓く —

- 全学を挙げた先進的な活動により、音楽文化の新たな地平を拓きます。
- 変化し続ける社会を見据えて、音楽で感動を与え、音楽で明日をつくる人材を育成します。
- 音楽文化の多角的な研究を展開し、広く成果を発信します。
- 双方向の国際交流を活発化し、多文化が共存するキャンパスを目指します。
- 鋭意音楽活動を展開し、地域社会の活性化、文化力の向上に積極的に貢献します。
- クリエイティブ・キャンパスを創出・運営し、構成員が自ら成長し続ける大学を実現します。

## 沿革

- 1907年(明治40年) 鈴木米次郎が神田裏猿楽町に東洋音楽学校を創立
- 1908年(明治41年) 管弦楽部設置
- 1924年(大正13年) 豊島区南池袋(現)に校舎移転
- 1949年(昭和24年) 付属高等学校開設
- 1950年(昭和25年) 付属幼稚園開設
- 1954年(昭和29年) 東洋音楽短期大学設立
- 1963年(昭和38年) 東洋音楽大学(4年制)に移行
- 1969年(昭和44年) 東京音楽大学に名称変更
- 1974年(昭和49年) 付属音楽教室開設
- 1975年(昭和50年) 付属民族音楽研究所開設
- 1993年(平成5年) 大学院音楽研究科修士課程設置
- 2007年(平成19年) 創立100周年  
記念本館(A館)竣工
- 2014年(平成26年) 大学院音楽研究科博士後期課程設置



創立者 鈴木米次郎

創立当初の校舎



2009年 ヨーロッパ・チャリティー演奏会  
ムジークフェラインザル(ウィーン)



2022年 東京音楽大学創立115周年特別演奏会

## 進化し続ける東京音楽大学

- 2017年(平成29年) ミュージック・リベラルアーツ専攻新設
- 2019年(平成31年) 中目黒・代官山キャンパス開校  
吹奏楽アカデミー専攻新設
- 2020年(令和2年) 付属高等学校が池袋キャンパスに移転
- 2021年(令和3年) 作曲指揮専攻 作曲「ミュージック・メディアコース」改編
- 2022年(令和4年) 創立115周年  
池袋キャンパスに新学生寮開寮
- 2024年(令和6年) 音楽文化教育専攻改編  
ミュージックビジネス・テクノロジー専攻新設

創造・発信の拠点  
中目黒・代官山キャンパス



都心2つのキャンパス、  
音楽学修に最適な環境。



生涯にわたる教育・研究の拠点  
池袋キャンパス

中目黒・代官山キャンパス  
(2019年4月開校)

中目黒駅と代官山駅からそれぞれ徒歩約5分という立地のよさに加え、都心でありながら豊かな緑の中で芸術性・創造性を育む環境です。最先端の音響設備を備えたTCMスタジオは、全専攻の学生が利用可能です。TCMホールは、最適な響きの中で演奏・鑑賞ができ、地域の方々にも来ていただける演奏会が年間多数開催されています。防音性に優れた80室以上あるレッスン室、大・中・小教室、練習室、クリエイティブラボなど、音楽学修に最適な環境が学生たちの学修・創作・研究意欲を大いに刺激します。本学最新の取り組みを社会に発信する拠点です。

池袋キャンパス

池袋駅から徒歩約15分、地下鉄副都心線雑司が谷駅から徒歩約5分、都心であるにもかかわらず社寺が散在し、ノスタルジーを感じる街並みに立地しています。806席ある100周年記念ホールを擁する100周年記念本館では、明るく開放的な空間の中で練習に没頭できます。また、2020年度より付属高等学校を池袋キャンパスに移転することにより、敷地内に付属幼稚園から付属高等学校、大学院まで一貫教育の環境が整えられました。加えて、付属図書館や付属民族音楽研究所も併設し、生涯にわたる教育・研究の拠点となります。2022年4月、敷地内に新学生寮が開寮しました。

## 生涯を通した音楽の一貫教育

東京音楽大学には、大学、大学院(修士課程、博士後期課程)のほかに、付属高等学校、付属幼稚園、付属音楽教室に加えて、付属民族音楽研究所、付属図書館も設置され、それぞれの特色を生かした教育・研究システムと最新の設備環境が用意されています。社会人を対象とした講座も豊富で、生涯を通した音楽の一貫教育が展開されています。

### 付属幼稚園

1950年に開園。音楽を取り入れたきめ細かい保育を行うとともに、音楽大学の付属機関である特色を最大限に生かした音楽教育を行っています。また、早期から英語教育を取り入れ、「聞く」「話す」ことが楽しく自然に身につく指導をしています。保育活動、演奏会、実技個人レッスンなどで学んださまざまな力は、豊かな人間性を育てる礎となります。



### 付属音楽教室

徹底したマンツーマン指導で行われる実技レッスンと、音感を育てるソルフェージュ授業により、大学付属の教室として総合的な音楽教育が行われています。忍耐力・想像力・コミュニケーション力を育む、各人の能力に合わせた指導も行っています。在室生の多くは音楽コンクールで優秀な成績を収め、付属高等学校、東京音楽大学に進学しており、国際的に活躍する演奏家も輩出しています。



### 付属高等学校

1932年に創立。レッスンは、大学の教授陣によって行われ、一人ひとりの実力、能力に見合った指導により、生徒の技術力、表現力、感性が磨かれ、音楽の総合力が高められています。2020年度より高等学校は池袋キャンパスに移転しました。これを機に高大一貫教育をさらに進化させ、特色ある高大連携カリキュラムの構築が実現します。



大学



大学院



### 付属図書館

楽譜7万点、音楽書を中心とする図書5万点、録音・映像資料4万点など音楽を学ぶために必要な資料をそろえ、両キャンパスのカウンターで提供しています。学内外で利用できる学術情報データベース、音楽配信なども拡充しています。2024年度中にリニューアルオープン予定です。



### 付属民族音楽研究所

元学長の作曲家、伊福部昭により1975年に創設された日本の私立音楽大学で唯一の民族音楽研究所。アイヌの音楽、インドネシアのガムラン音楽や沖縄の音楽、明清樂ほか邦楽を含むアジア地域の音楽の理論と実技について研究し、社会人教育を含む教育支援にあたっています。



### 付属オーケストラ・アカデミー

2022年4月開設の付属オーケストラ・アカデミーは、大学卒業以上の方を対象に、高度な演奏技術を教授し、オーケストラ奏者として国内外の職業オーケストラで活躍し、聴衆を魅了する演奏力をもつ音楽家を育成することを目的としています。



世界を魅了する声楽家を目指して。

# 声 楽

世界でたったひとつの自分の声を  
「楽器」として育て上げるために、基礎的な発声法などを学びます。

本学の伝統である多角的かつ複数の教員から受けられる手厚い指導と充実したカリキュラムで、  
学生一人ひとりがもつ可能性を見出し、磨き上げ、目指す道へ進む力を育みます。

# 専 攻

# 攻 撃



## 主なカリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
必修科目	専攻科目 声楽実技 合唱	声楽実技 合唱	声楽実技 合唱	声楽実技 合唱 卒業演奏
	専門基礎科目 ピアノ(副科) ソルフェージュ 和声 西洋音楽史概論	ピアノ(副科) ソルフェージュ 和声	—	—
	英語 英語コミュニケーション	外国語 *1	—	—
	教養科目 教養演習	—	—	—

【選択科目】 専攻科目：舞台基礎入門講座、特別実習、オペラ実習、フランス歌曲、ドイツ歌曲、ヴォイストレーニング、ドイツ語歌詞研究、ドイツ語オペラ台本研究、イタリア語歌詞研究、イタリア語オペラ台本研究

\*1：イタリア語・ドイツ語・フランス語から1科目以上(1年次から4年次の間に履修)

### 声楽芸術 【1年次:全員】

基礎的な発声法を学びながら  
「舞台基礎入門講座」でオペラ  
はもちろん、すべての舞台表現  
の基礎を学びます。

### 声楽芸術コース 【2~4年次】

あらゆる歌のシーンで活躍できるよう、歌  
曲からオペラ、ミュージカルまで、本人の  
希望に合わせたさまざまなジャンルの曲  
のレッスンが可能です。

「オペラ実習」では、声楽家、演出家、指揮  
者による手厚い指導が行われます。

### 声楽特別演奏家コース 【2~4年次】

「特別実習」では、声楽家、演出家、指揮者らの指導の  
もと、高度で実践的な授業が展開されます。

2年次からの本コースへの在籍生は、定期実技試験の  
成績などにより決まります。

## メッセージ

教員



プロの稽古場さながらの実践的な授業を、  
学生一人ひとりの個性や成長度合いに合わせて。

教授 菅 有実子

声楽専攻の最大の特色は、各学年に舞台芸術系の授業が用意されていることです。歌、指揮、演出、発音など専門の教員がチームとなって、一人ひとりの学生に対して指導にあたっており、それはプロフェッショナルのオペラ公演の稽古場さながらです。とはいっても、声や成長の速度は一人ひとり違うので、それぞれの学生に合った配役や場面を考えるなど、丁寧な指導を心がけています。このような授業を通じて歌唱表現、身体表現(演技)はもとより、将来オペラやミュージカルの舞台に立つ時に必要なステージマナー、ストーリーや役柄の深い掘り下げなどをさまざまな角度から実践的に学んでいきます。そして、授業の集大成が試演会です。ひとつの舞台を踏むことによって人は大きく成長します。「オペラやミュージカルをやってみたい」という夢をもつたら、全力でチャレンジしていただきたい。東京音楽大学は皆さんの夢を受け止め、手厚くサポートしようという教員がそろっています。

卒業生



学びと出会いに感謝。

NHK Eテレおかあさんといっしょ 第21代うたのおねえさん 小野 あつこ

声楽演奏家コース 2014年大学卒業  
2016年大学院修士課程修了

「おかあさんといっしょ」の番組を卒業して1年が経ちました。この1年、「全国の子供たちに歌を届けに行く」ことを目標にいろいろな形で活動してきました。その中でもオーケストラとの共演は、今までに経験したことのないスケールの大きなステージで、重責を感じつつもとても充実した時間となりました。また、それぞれの楽器でご活躍されている同窓の方々が声をかけてくださり、とても心強くほっとする瞬間でもありました。

東京音楽大学の「音楽を通して社会に貢献する」という建学の精神と理念のもと学んできた者として、これからも子供たちに音楽を届ける活動を続けていきたいと思います。

## 担当教員



【教 員】 金洞 祐子 水野 貴子 横山 恵子  
【特 任 教 員】 佐野 成宏  
【准 教 員】 秋山 隆典 緑川 まり  
【特 任准教 員】 木下 美穂子  
【特 任講 師】 安達 さおり  
【講 師】 浅井 隆仁 川原 敦子 清水 勇磨 野田 ヒロ子  
立原 ちえ子 伊達 英二 星 洋二  
杉野 正隆 中村 惠理  
萩原 みか 九嶋 香奈枝 倉石 真 黒澤 麻美  
高橋 淳 武田 正雄 田代 誠 成瀬 当正  
藤井 奈生子 藤牧 正充 嘉目 真木子 (ほか助手)

【オペラ 演 出】 【特 任教 員】 栗國 淳  
【専 任講 師】 伊藤 隆浩  
【講 師】 今井 伸昭 大島 尚志 久恒 秀典  
【身 體 表 現】 【講 師】 安達 悅子 高野 知美 花柳 けい  
【ディ クシ ョン】 【講 師】 エルマンノ アリエンティ

【声楽伴奏 (コレベイントルネート)】 【専 任講 師】 田島 亘祥  
【講 師】 白取 晃司 服部 容子 中井 徳子 濱野 基行  
八木 智子 湯浅 加奈子 前田 美恵子 渡辺 知子

鍵盤からすべてを「表現」し、「発信」する。

## それを可能にするのは共感する力、理解する力。

すべてのコースにおいて基礎能力の向上と、自身の特性と得意領域を発見できるプログラムになっています。共通するポリシーは「作品の意思を聴く人に伝えるため、演奏を学生各自の極限まで磨くこと」「人間の湧き上がる感情と意思が作品にどう投影されているかを冷静に判断する知見をもつこと」です。この演奏芸術の要となる2つを軸に、フィジカルな演奏鍛錬のみならず、作品の分析力や創造力の向上と、「学生各自がもつ作者への親和性」を最大限に引き出しながら学修します。ピアノのレッスンは、希望により複数の教員から学ぶことが可能です。2年次からの「室内楽」「ピアノ実践伴奏」では、他専攻とのコラボレーションの機会が飛躍的に増えます。

また、国内外の演奏家、指導者による「作品解釈」「指導法」、さらには、海外招聘教授によるレッスンや海外短期留学の機会など、さまざまな学修プログラムが整えられています。

### ピアノ

基礎からステージでの演奏、また、コンクールでの演奏、さらには実際の演奏活動までを個人レッスンを中心に体得します。個人レッスンでは将来指導者を目指すための知識も豊富に得ることができます。

全学年対象のオーディションによる学内演奏会、3年次の定期実技試験の成績優秀者による春のコンサートがあります。

### ピアノ演奏家コース

読譜力の速さと緻密さを養い、長時間の演奏プログラム、作品の様式感を徹底的に学修します。

定期実技試験の成績優秀者は、学外で開催される「東京音楽大学ピアノ演奏会」に出演します。

ビ。ア。

器楽専攻



### 主なカリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
必修科目	専攻科目 ピアノ実技 ピアノ初見法 *1 創作実技 *2 作曲理論基礎 *2	ピアノ実技 創作実技 *2 作曲理論基礎 *2	ピアノ実技 伴奏法 創作実技 *2 作曲理論基礎 *2	ピアノ実技 卒業演奏 創作実技 *2 作曲理論基礎 *2
	専門基礎科目 ソルフェージュ 和声 *1 西洋音楽史概論	ソルフェージュ 和声 *1	キーボードハーモニー *1	—
	英語 英語コミュニケーション	英語コミュニケーション	—	—
	教養科目 教養演習	—	—	—

【主な選択科目】 専攻科目：ピアノ特別実技\*4、ピアノデュオ講座、室内楽、ピアノ指導法、ピアノ指導法特講、ピアノ・プラクティカル・トレーニング\*3、作品解釈、ピアノ実践伴奏、伴奏演習、音楽形式\*4、身体表現と音楽、音楽演奏科学

\*1 ピアノコース、ピアノ演奏家コース \*2 ピアノ・創作コースのみ \*3 ピアノコースのみ \*4 ピアノ演奏家コースのみ

### メッセージ

教員



常にワクワクし、新たな発想を実現する。

教授 石井 克典

ピアノは初心者でもすぐにたくさんの音が出来る親しみやすい楽器です。音の組み合わせや弾き方によって、ほぼ無限の表現の可能性をもつがゆえに、奏者の個性を発揮できる非常に奥深い楽器でもあります。ピアノで自分の音楽を表現するためには、奏法だけではなく、背景にある思想や社会を学び、作曲家の内面を探ることも必要不可欠です。そうすることで、モチベーションがより明確になるだけではなく、新たな解釈、理解と発想、ジャンルを超えた活動エネルギーの源にもなると信じています。時代を経ても変わらない大切なものは何なのかを考察しながら、音楽をする上でも、社会での活動においても、常にワクワクし、新たな発想を果敢に試して実現してほしいと思います。

### 担当教員



ピアノ  
【教 授】石井 克典 大竹 紀子 岡田 敦子 佐藤 俊 佐藤 栄子 播本 栄子 村上 隆 江夏 真理奈 後上 聰司 越村 紅 後藤 美由紀  
【客員教授】菊地 麗子 鷺見 加寿子 武田 真理 小川 典子 ギグラ カツアラヴァ 追 昭嘉 ロナン オホラ 若林 頤  
【特任教授】東 誠三 エリソ ヴィルサラーゼ 川上 典子 倉沢 仁子 小高 明子 広瀬 宣行 松本 和将  
【准 教 授】川上 昌裕 川島 基 倉沢 仁子 小高 明子 広瀬 宣行 松本 和将  
【准任講師】稻田 潤子 梅根 恵 大崎 結真 海瀬 京子 河邊 亮子 橋高 昌男 江夏 真理奈 後上 聰司 越村 紅 後藤 美由紀  
【専任講師】石井 理恵 佐藤 智子 佐藤 由紀子 島田 美穂 相馬 泉美 高田 匠隆 智内 威雄 新見 フェイギン 浩子 野中 正 半澤 佑果  
【専任講師】河村 尚子 佐藤 智子 佐藤 由紀子 島田 美穂 相馬 泉美 高田 匠隆 智内 威雄 新見 フェイギン 浩子 野中 正 半澤 佑果  
【講 師】石岡 千弘 梅根 恵 大崎 結真 海瀬 京子 河邊 亮子 橋高 昌男 江夏 真理奈 後上 聰司 越村 紅 後藤 美由紀  
佐藤 智子 佐藤 智子 佐藤 由紀子 島田 美穂 相馬 泉美 高田 匠隆 智内 威雄 新見 フェイギン 浩子 野中 正 半澤 佑果  
樋口 愛 松本 愛 宮崎 和子 森 早苗 森山 あす香 山口 泉恵 山辺 純理 伊賀 あゆみ\*2 大伏 啓太\*4 加藤 千晶\*2 北端 祥人\*4  
清野 香子\*2 後藤 加奈\*4 坂本 真由美\*4 佐藤 圭奈\*4 篠田 昌伸\*1 竹中 勇人\*3 只野 なつき\*2 田中 翔平\*4 寺元 嘉宏\*4 長井 芽乃\*1 西能希\*4  
野崎 玲欧\*4 野宮 淳子\*2 古屋 晋一\*1 松下 倫士\*2 吉本 悟子\*2 (ほか助手)  
※1: 授業担当 ※2: 伴奏担当 ※3: アンサンブル担当 ※4: 副科ピアノ担当

チェンバロ 【特任教授】大塚 直哉 【講師】大村 千秋

オルガン 【講師】徳岡 めぐみ

フォルテピアノ 【講師】小倉 貴久子



# 弦

器楽専攻

# 楽 器 者



美しく豊かな響きを追い求めて。

個性の輝き、そして協調へ。

弦楽器独特の美しく豊かな響きを追求するとともに、それぞれの感性と知識によって楽曲の様式や作曲者の意図をとらえ、どのように表現するかを探求します。また、合奏などの授業において「聴(みみ)」を育て、他と協調し、連帯感を培います。

- 週1回の個人レッスン。
- 1・2年次必修の「管弦楽または合奏」と「弦室内楽」では、アンサンブルの基礎を学びます。
- 国内外招聘音楽家による公開レッスン、公開講座などを受ける機会があります。

## 主なカリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
必修科目	専攻科目	弦楽器実技 弦室内楽 弦楽合奏*1 管弦楽または合奏	弦楽器実技 弦室内楽 管弦楽または合奏	弦楽器実技
	専門基礎科目	ピアノ(副科) ソルフェージュ 和声 西洋音楽史概論	ソルフェージュ 和声	—
	英語	英語コミュニケーション	英語コミュニケーション	—
教養科目	教養演習	—	—	—

【選択科目】 専攻科目：吹奏楽(コントラバスのみ)、管弦楽または合奏、弦室内楽 \*1: ハープ・クラシックギター除く

## メッセージ



教員

懸命に音楽を勉強すれば、必ず力になる。

教授 神尾 真由子

個人レッスンでは、担当の先生が演奏技術の進歩具合だけでなく、あなたの人生そのものに興味と責任をもって関わってくれます。室内楽の授業では少人数グループでの活動の難しさと楽しさ、反対にオーケストラの授業では大人数グループでなにかを成し遂げることを学びます。そして楽器の練習に休日はありません。よほどのことがない限り、必ず毎日何時間かは練習するのです。そのような皆さんの努力は、必ず評価されるのです。私たちは自信をもって言えます。青春時代に音楽を勉強したことは、必ず皆さんの力になると。



在学生

人の心に響く演奏表現を学び、磨く。

山本 志奈 ヴァイオリン4年(東京音楽大学付属高等学校卒業)

個人レッスンでは作品の内容や様式を踏まえた上での演奏や、人の心に響く表現がどういうものであるかを教わり、今後に生きるとしても大切な学びを得られていると感じています。学外での演奏の機会もあり、客層をふまえて演奏会の内容を考えるなど実践的にも学べる環境です。またオーケストラや室内楽の授業でもたくさんの先生方が親身になってご指導してくださる印象が強くあります。学生同士も友好的な雰囲気で、有志での活動も盛んです。音楽に真摯に向き合う仲間の姿に日々刺激を受け、自分もがんばろうと練習に励むことができます。大学の主催するマスタークラスや海外での演奏旅行では視野の広がる経験をさせていただきました。豊かな機会に恵まれ仲間と切磋琢磨し合えるこの環境で、音楽的にも人間的にもさらに成長していきたいと思っています。

## 担当教員

ヴァイオリン	【教 授】荒井 英治 【客員教授】海野 義雄 【准教授】中村 静香 【准任教授】横山 俊朗 【専任講師】鈴木 亜久里 【講 師】東彩子 【客員教授】店村 真穂 【特任教授】百武 由紀 【講 師】大野 かおる 【教 授】ドミトリー フェイギン 【客員教授】苅田 雅治 【特任教授】鈴木 秀美 【講 師】門脇 大樹 【客員教授】星 秀樹 【特任教授】吉田 秀 【講 師】永島 義男 【特任教授】幕内 弘司 【講 師】篠崎 史子 【客員教授】柏原 靖子 【准教授】莊村 清志 【講 師】江間 常夫 【講 師】杉浦 美知 【講 師】百武 恵子 【講 師】諸田 由里子 【講 師】山崎 早登美
ヴィオラ	
チェロ	
コントラバス	
ハープ	
クラシックギター	
管弦楽・合奏	
弦(ピアノ伴奏)	



自らの音を磨き上げ、相手の音に耳を澄ます。

すべては調和するよろこびのために。

世界的に活躍している著名な教授陣から受けるレッスンによって、高度な技術と豊かな表現力をもった音楽家の育成を目指します。独奏だけでなく合奏技術を高め、複数の楽器に関する幅広い知識を獲得します。多様な合奏形態を経験することにより、他者に対する思いやりや社会性を養います。シンフォニック ウィンド アンサンブルおよびシンフォニーオーケストラでは、合奏授業の集大成として学外で定期演奏会を実施するほか、多数の演奏会を行い、経験を積みます。また、国内外の招聘音楽家による公開レッスンや公開講座などを受ける機会があります。

■ 1年次は、「管弦楽または合奏」で同属合奏や木管五重奏、金管五重奏などで合奏の基礎を学びます。

■ 2年次以上は、オーケストラを学び、全員がさまざまな演奏会で活躍できます。

■ 「吹奏楽」では、1年次より合奏の基礎から応用まで段階を踏んで学び、全員で数多くの演奏会を経験します。また将来、吹奏楽の指導者として必要となる能力も総合的に修得します。

# 管打楽専攻



## 主なカリキュラム

		1年次	2年次	3年次	4年次
必修科目	専攻科目	管打楽器実技 吹奏楽 管弦楽または合奏	管打楽器実技 吹奏楽 管弦楽または合奏	管打楽器実技	管打楽器実技 卒業演奏
	専門基礎科目	ピアノ(副科) ソルフェージュ 和声 西洋音楽史概論	ソルフェージュ 和声	—	—
	英語	英語コミュニケーション	英語コミュニケーション	—	—
	教養科目	教養演習	—	—	—

【選択科目】 専攻科目：吹奏楽、管弦楽または合奏、室内楽、管打指導法

## メッセージ

教員



個性を尊重し、仲間とともに学ぶ4年間。

教授 外園 祥一郎

管打楽器はアンサンブルでの力量がひときわ重要視される楽器です。本学では1年次に同属楽器や木管五重奏などの合奏により、アンサンブルの基礎と自分の専門以外の楽器の特性を徹底的に身につけることからはじめ、段階的に管打楽器によるオーケストラ・スタディーズ、そしてフルオーケストラでのアンサンブル技術を学びます。1年次よりこのようなアンサンブルを要とした実践的な学びの場を通してさまざまな演奏者と触れ合することで、音楽における言葉を越えたコミュニケーション力を身につけるだけなく、協調性をもって互いの個性を尊重するという社会において重要なスキルを身につけます。またこの学びの場では、国内外で活躍する現役音楽家でもある指導陣が経験上蓄積してきたノウハウをもとに、一人ひとりの個性と向き合い直接アドバイスをします。個々の演奏技術向上を目指しつつ、仲間との関わりの中で心を育み、音楽を必要とするさまざまな場で活躍する人材を育てます。

## 担当教員



フルート	【教 授】工藤 重典 【客員准教授】中野 真理 【特任准教授】岩佐 和弘 【講 師】相澤 政宏 甲斐 雅之 神田 勇哉	【教 授】水谷 上総 【講 師】宇賀神 広宣	【教 授】アンド烈 アンリ 【客員教授】津堅 直弘 【特任教授】岡崎 耕二 【准 教授】杉本 正毅 【講 師】高橋 敦 辻本 憲一 長谷川 智之	ユーフォニアム【教 授】外園 祥一郎 【講 師】岩黒 綾乃
オーボエ	【教 授】古部 賢一 【客員教授】宮本 文昭 【講 師】荒 絵理子 南方 緑子	【教 授】小串 俊寿 【講 師】波多江 史朗 平野 公崇 本堂 誠	トランペット【教 授】栗田 雅勝 【特任教授】新田 幹男 【講 師】井口 有里 岸良 開城	打楽器【教 授】神谷 百子 【客員教授】久保 昌一 【特任教授】山田 徹 【特別招聘教授】宮崎 泰二郎 【講 師】柴原 誠 西久保 友広 堀尾 尚男
クラリネット	【教 授】野田 祐介 【客員教授】四戸 世紀 【特任教授】松本 健司 伊藤 圭 【講 師】勝山 大輔 重松 希巳江	【教 授】水野 信行 【准 教授】福川 伸陽 【講 師】勝俣 泰 富成 裕一 日橋 長朗 吉永 雅人	トロンボーン【教 授】栗田 雅勝 【特任教授】新田 幹男 【講 師】井口 有里 岸良 開城	指揮【講 師】近藤 久敦
		【教 授】野々下 興一 【講 師】荻野 晋 近藤 陽一	バス・トロンボーン【講 師】野々下 興一 【講 師】荻野 晋 近藤 陽一	管弦楽または合奏【講 師】井上 亮 副田 真之介 (ほか助手)



## 作曲指揮専攻

先人の技法を学び、自分だけの音を紡ぐ。

創作するよろこびがそこにある。

作曲「芸術音楽コース」では、古典から現代に至る作曲技法を学びながら、さまざまな編成の楽曲を創作することで創作力および対応能力の養成を図ります。劇音楽やゲーム音楽など商業音楽分野の作編曲に興味のある学生は、芸術音楽をベースにしながらマルチメディアに対応したレッスンを受けることも可能です。また、自作品の演奏機会が数多く設けられているのも、本コースの魅力のひとつです。

■ 1年ごとに指導を受ける教員を自由に選べます。

■ 「作曲理論」は、1年次と2年次でオーケストレーション、3年次はコンピューターを使用した音楽と吹奏楽作編曲を学び、4年次は、さらなる個性の伸長を目的に、総合的な作曲能力を高めます。

※2003年より毎年、本学ホールで開催している学長賞受賞作品選考演奏会。  
最優秀作品には「東京音楽大学学長賞」(賞状と賞金)が授与されます。

### 主なカリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
必修科目	専攻科目	作曲実技 作曲理論 対位法	作曲実技 作曲理論 対位法 指揮法	作曲実技 作曲理論 指揮法
	専門基礎科目	ピアノ(副科) ソルフェージュ 西洋音楽史概論	ピアノ(副科) ソルフェージュ	—
	英語	英語コミュニケーション	英語コミュニケーション	—
	教養科目	教養演習	—	—

【選択科目】 専攻科目: コンピューター・サウンドテクニック

\*2023年度より、東京電機大学理工学部と単位互換を開始しました。

### メッセージ

教員



©YOKO SHIMAZAKI

古きを知り新しきを探求する。

教授 野平一郎

音楽は今でこそ「過去のものを演奏したり、研究したり」することが主のように思われていますが、本当は創作の分野が活発にならなければ音楽芸術全体が滅びてしまうでしょう。ぜひ作曲に挑戦して、自分の世界を発表してみませんか。

古きを知り新しきを探求する～過去の作品を学び、また近年の創作を研究することで、音楽がどうやって発展してきたかが理解できると次第にあなたの作曲、あなたの「音」による創作が可能となります。それは誰のものとも違う、あなたの考え方によるあなたの音楽です。作品をつくることは自己との戦いですが、作品ができた時の喜びはなものにも代えがたいものです。

あなたの前には無限大の世界が広がっています。ぜひあなた自身の手で、次に来る世界を作ってみませんか。

在学生



自分の専門分野はもちろん、さまざまなことを学べた4年間。

麻生 海督 2020年大学卒業 2022年大学院修士課程修了 大学院博士後期課程2年(成田高等学校卒業)

第26回奏楽堂日本歌曲コンクール 作曲部門第2位並びに畠中良輔賞

さまざまな音楽を書きたいと思っていたので、芸術音楽だけでなく、商業音楽にも強い東京音楽大学は僕にピッタリだと思いました。学生主体で自由に演奏会を開けるところも魅力でした。4年間を通して、自分の専門分野以外にもしっかりと目を向けるようにしました。芸術分野だけでなく、社会的なことやいわゆるサブカルチャーといった領域まで、僕の創作活動において大きなヒントになっています。作曲科の必修授業で「作曲理論」という授業があります。毎年内容も先生も替わって作曲の基礎を叩き込まれるのですが、ディスカッションなどを通じて作曲技法・様式にとどまらず、思想や言語感覚、論理といったことまで徹底的に鍛えられました。

### 担当教員



中橋 愛生



西村 朗



野平 一郎



原田 敬子



藤原 豊



柴山 拓郎



細川 俊夫



有馬 純寿

【教 授】 中橋 愛生 西村 朗 野平 一郎 原田 敬子 藤原 豊  
【特任教授】 柴山 拓郎 細川 俊夫  
【准 教 授】 有馬 純寿  
【専任教師】 土屋 雄  
【講 師】 赤石 直哉 伊左治 直 磯部 英彬  
茂木 宏文 森垣 桂一 植田 彰 神山 奈々 喜久 邦博 渋谷 由香 竹澤 透 照屋 正樹 久田 典子 久行 敏彦  
【准教 師】 有馬 純寿 山下 美香



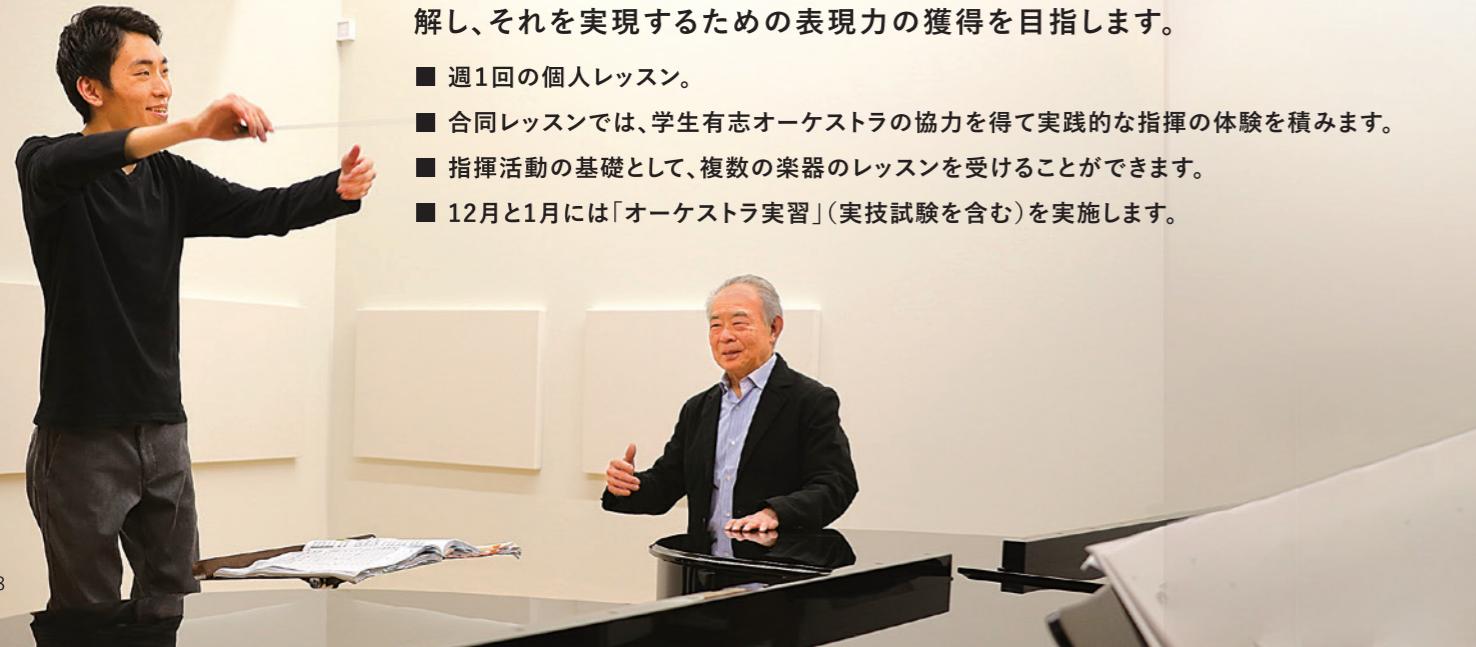


楽曲を深く理解し、自らの意思を伝える。

その情熱から表現は生まれる。

指揮者として、多くの人々とともにより多彩、より深遠、より豊潤な感動を実現するために、高度な専門知識と技能をもち、深い教養に裏づけられた人格を磨きます。技能の巧みさや音響的感動だけを追い求めるのではなく、それぞれの作品が人の心になにをもたらすべく書かれたかを理解し、それを実現するための表現力の獲得を目指します。

- 週1回の個人レッスン。
- 合同レッスンでは、学生有志オーケストラの協力を得て実践的な指揮の体験を積みます。
- 指揮活動の基礎として、複数の楽器のレッスンを受けることができます。
- 12月と1月には「オーケストラ実習」(実技試験を含む)を実施します。

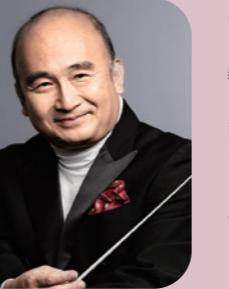


## 主なカリキュラム

	1年次	2年次	3年次	4年次
必修科目	専攻科目	指揮実技 オーケストラ実習	指揮実技 オーケストラ実習	指揮実技 オーケストラ実習
	専門基礎科目	ピアノ(副科) 音楽理論・スコアリーディング ソルフェージュ 楽器奏法 西洋音楽史概論	ピアノ(副科) 音楽理論・スコアリーディング ソルフェージュ 楽器奏法	ピアノ(副科) 音楽理論・スコアリーディング
	英語	英語コミュニケーション	英語コミュニケーション	—
教養科目	教養演習	—	—	—

## メッセージ

教員



指揮者はもちろん、社会に貢献できる人材を育てる。

教授 広上淳一

指揮科ではさまざまな人を広く受け入れる、という理念を掲げています。東京音楽大学は実際に刺激的なところです。入学したらぜひ、どんなことにも果敢に挑戦していってください。時には挫折を味わうこともあるかもしれません。しかし、どんなにマイナスに思えることでも経験して、「絶対ということがない」ことを学んでほしい。それを自分の音楽への糧とし、困難に立ち向かう姿勢があればきっと道は拓けると思います。ともに真剣に考えることを通して明晰な頭脳と人間としてのキャバシティを手に入れてください。そして、ここで学んだことを通じて指揮者はもちろん、社会に貢献できる魅力のある人材に育ってほしいと思っています。

卒業生



「人間力」こそが社会で最も重要な大切なこと。

指揮者 石崎真弥奈

2011年大学院修士課程修了  
2009年大学卒業  
(国立音楽大学附属高等学校卒業)

在学生



学生のうちからオーケストラを指揮できる魅力。

荒木 流音生

指揮4年  
(見華学園高等学校卒業)

東京音楽大学の指揮科は毎週の指揮の個人レッスンに加え、音楽理論や定期的な合同レッスンと呼ばれる実際のオーケストラを用いた豊かなカリキュラムとなっています。学生のうちからオーケストラを指揮できる機会があるのはどこを探しても東京音楽大学しかなく、さらにプロの器楽の先生方から現場の声としてアドバイスをいただけるのも大きな特色だと思います。指揮科では、音楽の勉強のみならず、自分自身と対峙していく時間がとても多くなります。自分が何者なのかを常に考える生活を送ることにより、物事を深く考える力が身につきます。自分の音楽力だけではなく、人間力も鍛えられるのは東京音楽大学の指揮科のよさです。

## 担当教員



広上淳一

リック オヴァトン

田代俊文

増井信貴

ボリス ベルキン

岩佐和弘

【教 授】	広上淳一	リック オヴァトン	【講師】	石坂宏	井上勢津	【特別アドバイザー】	会田莉凡	新眞二	池松宏	石井啓一郎	石川祐支
【客 員 教 授】	田代俊文	増井信貴		小野富士	加納明洋		今川裕代	奥田雅代	鎌田泉	上村文乃	川本嘉子
【特別招聘教授】	ボリス ベルキン			三河正典	三原明人		後藤悠仁	小林有沙	小林美樹	田島奈央子	
【特 任 准 教 授】	岩佐和弘			米津俊広			田村博文	野田清隆	服部亜矢子	藤田崇文	森下幸路
【特 任 講 師】	川瀬賢太郎	坂元勇仁		河上隆介			吉野直子	米元響子	渡邊穂		
	松井慶太			杉原直基			朴賢娥	福田ひろみ			
【特別招聘講師】	高島勲	藤井宏一郎		茂木大輔			瀧本絵子	中西亮	西口彰浩		
							浅野将己	アンナ・リトヴィーノワ	五島友朗	松村詩史	

音楽で世の中に貢献しよう。

2024  
RENEWAL

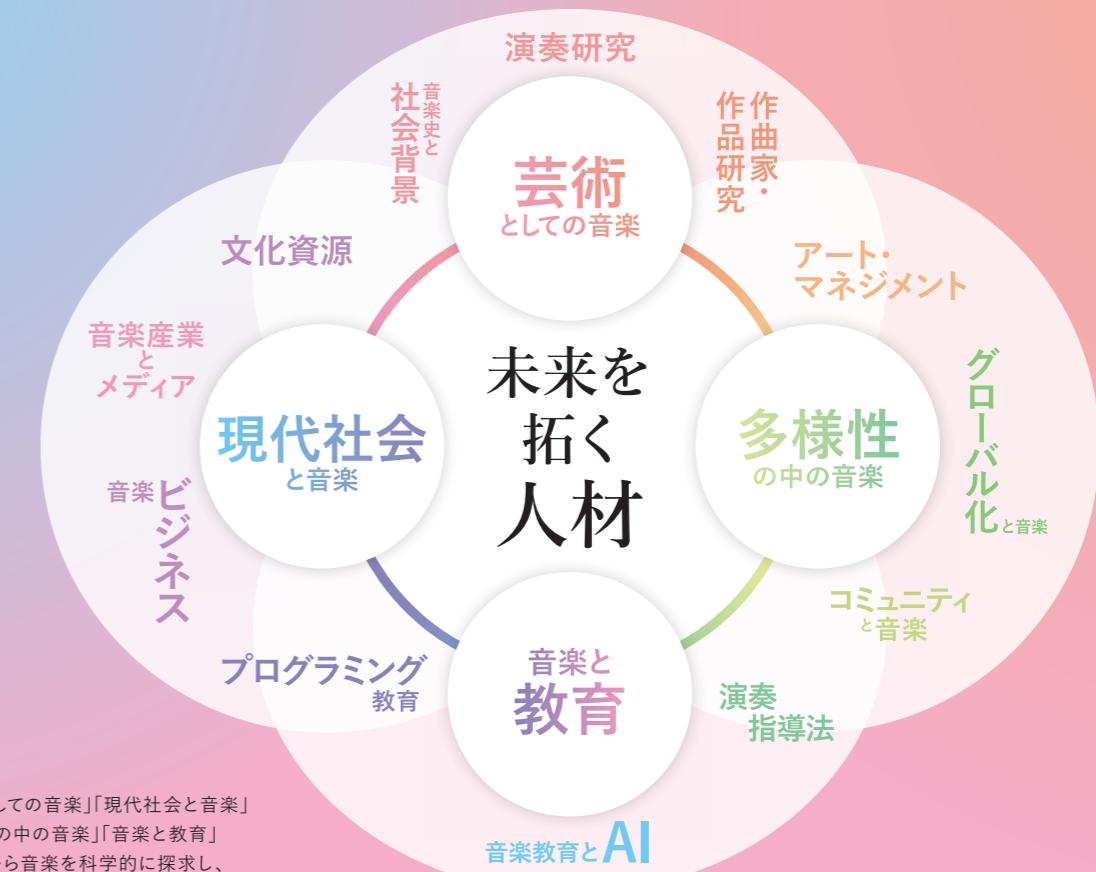
# 音楽文化教育専攻

音楽で社会に出るチカラを養う

音楽文化教育専攻では、2024年度より教育内容と教授陣を大幅に拡充します。あらゆる角度からの音楽の学びを通して幅広い教養(リベラルアーツ)を修得し、社会のさまざまな分野において未来を拓く力のある人材(ミュージック・アントレプレナー)を輩出します。演奏実技は選択制で、実技の鍛錬とアカデミックな学びを並行して進めることも可能です。

## 教育方法

従来型の講義に加えて、少人数による発展型ゼミナールや、学外での実践やPCでの創作を伴うプロジェクト型授業、実技を伴うワークショップなどの協働型授業を設け、より主体的かつ専門的な学びを可能にします。また、地域、科学博物館、医療機関などとの連携プロジェクトを実施予定。異分野・異業種との協働経験を通して、音楽文化のダイナミズムに触れ、幅広い教養を身につけることができます。



「芸術としての音楽」「現代社会と音楽」  
「多様性の中の音楽」「音楽と教育」  
の視点から音楽を科学的に探求し、  
幅広い教養(リベラルアーツ)を修得

## 主なカリキュラム

		1年次	2年次	3年次	4年次
必修科目		1セメスター 2セメスター	3セメスター 4セメスター	5セメスター 6セメスター	7セメスター 8セメスター
専攻科目	音楽文化教育入門		音楽文化教育の最前線	—	卒業研究ゼミナール
専門基礎科目	ソルフェージュ 和声 西洋音楽史概論 世界音楽概論 日本音楽史概論	—	—	—	—
教養科目	英語 教養演習	英語コミュニケーション —	—	—	—
芸術としての音楽	—	—	音楽と歴史 音楽と社会 音楽と価値	—	—
現代社会と音楽	—	—	音楽と文化 音楽とメディア 音楽とマネジメント	—	—
多様性の中の音楽	—	—	世界音楽の視点と課題 コミュニティと音楽 伝統と現代	—	—
音楽と教育	—	—	音楽教育とAI 音楽とカリキュラム 音楽と指導法	—	—

【選択科目】実技個人レッスン

## 教員



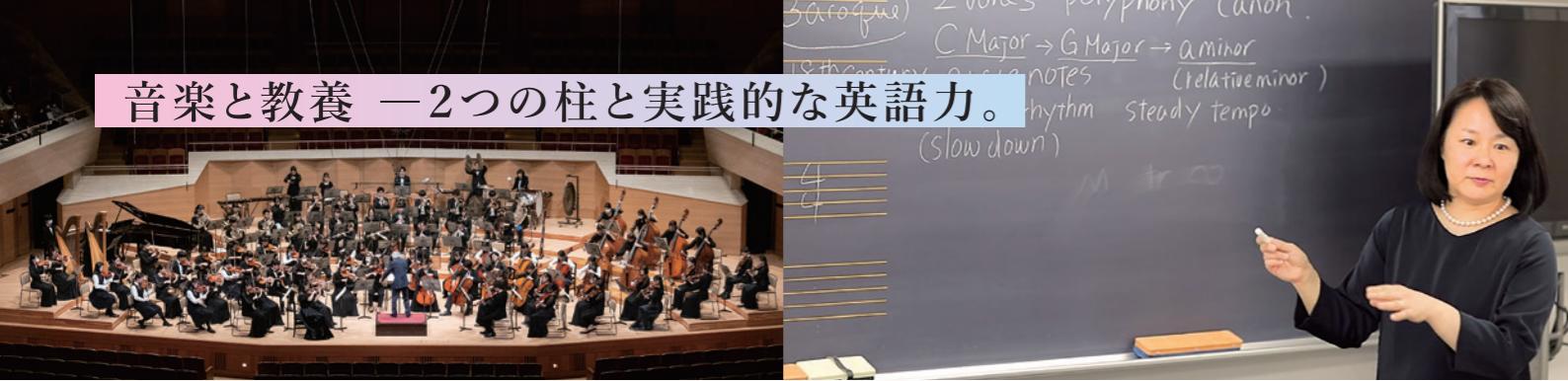
音楽が持つ可能性を、広げていく。 教授 武石 みどり

現代は、クラシックのみならず、J-POPやジャズなど数々の音楽にあふれ、また生演奏だけでなく多様なメディアで音楽を享受するようになりました。こうした時代において、音楽でなにを学び、どのように社会で活かせるでしょうか。ICT、多文化共生、コミュニティの活性化など、音楽にはさまざまな形で社会とつながり、社会に変化をもたらす潜在力があります。そんな音楽の力を引き出し、生かしていくことに挑戦してみましょう。社会人の「学び直し」にもぴったりの専攻です。

## 担当教員

【教 授】武石 みどり(音楽学)	藤田 茂(音楽学)	村田 千尋(音楽社会史)
【准 教 授】下道 郁子(音楽教育)	福田 裕美(コミュニティ音楽文化論)	立原 ちえ子(声楽)
【専任教師】土屋 真仁(キーボード)	井上 勢津(音楽療法)	廣瀬 宣行(ピアノ)
【講 師】赤羽 美希(音楽教育)	近藤 隆史(情報教育・コンピュータミュージック)	柴田 康太郎(映像音響史)
中村 千鶴(音楽教育)	澤口 遊雲子(リトミック)	周東 美材(音楽社会学) (ほか講師・助手)

## 音楽と教養 —2つの柱と実践的な英語力。



# ミュージック・リベラルアーツ専攻

音楽と英語、リベラルアーツの力で世界へ羽ばたく

音楽大学におけるまったく新しい、音楽も英語もリベラルアーツもしっかり学べる専攻です。音楽科目は器楽専攻や声楽専攻などと同プログラム、同レベル。そして、英語科目は一般大学の外国語学科よりも少人数のクラスからスタートします。

卒業後は演奏家からビジネスパーソンまで多種多彩。英語が音楽活動を広げ、海外留学や国際コンクールに挑戦する者もいれば、音楽を「知」の核としてメディアや広告関連など一般企業で活躍する者もいます。

在学中は「音楽」を中心に学ぶことも、「英語」「英語による教養」を中心に学ぶことも自由自在です。

- 音楽科目は、1~4年次を通して東京音楽大学ならではの高度なカリキュラム。
- 英語による英語科目によって、入学半年後にはほぼ英語が聞き取れるようになる。
- とくに人気の「チュートリアル・イングリッシュ」はネイティブスピーカーの教員1人に学生4人。
- 2年次から英語によるリベラルアーツ(教養)科目開始。習うより使って上達。
- 3年次後半から英語による卒業論文作成開始。プレゼンにも磨きがかかる。
- 卒業演奏／作品+卒業論文(英語)で、世界へ羽ばたく最強の人材に。



## 主なカリキュラム

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
MUSIC	個人レッスン(声楽・ピアノ・弦楽器・管楽器・打楽器・作曲・指揮・古楽器・邦楽器より選択)							
必修科目/ 選択必修 科目など	ソルフェージュ 和声	—						
ENGLISH/ LIBERAL ARTS	[ソルフェージュ・和声・和声分析など(選択科目)]							
必修科目/ 選択必修 科目など	チュートリアル・イングリッシュ アカデミック ライティング アカデミック プレゼンテーション ディベートとディスカッション	リベラルアーツ科目(英語で授業) 人文科学系 … ヨーロッパの社会・文化、ヨーロッパ史、音楽史、ジャズヒストリー など 社会科学系 … 國際関係論、日本の文化と社会、異文化交流、経営と音楽 など 自然科学系 … 音楽心理学、音楽療法、プログラミング など						
必修科目/ 選択必修 科目など	ビジネスライティング アカデミック リーディング	—	—	—	—	—	卒業論文ゼミ・卒業論文	卒業論文ゼミ・卒業論文
専攻科目	英語学概論／日本語	イントロダクション トゥ ミュージックヒストリー/ミュージック スタディーズ/MLA資格英語 など 英語で学ぶフランス語/ドイツ語						
選択科目	他の専攻で開講している音楽科目(実技・講座・アンサンブルなど)/交流大学単位互換科目							
教養科目	教養演習	—						

【そのほかの選択科目】 専攻科目：指導者養成管弦楽・吹奏楽・邦楽実習、ガムラン実習 など  
共通科目：音楽基礎科目、教養科目、外国語 など

\*英語力が特別に優れている学生はリベラルアーツ科目の一部を1年次から履修可能 \*上智大学単位互換科目は2セメスター目より履修が可能

## メッセージ

教員



将来の道が大きく広がる。

教授 岡田 敦子

ミュージック・リベラルアーツ専攻の雰囲気は、まさに「多様性」と「活気」です。学生がそれぞれ専門とする分野は声楽、ピアノ、弦楽器、管打楽器、作曲、邦楽器とさまざま。入学時のレベルも、トップクラスの人から、入学後に音楽を本格的にはじめる人までさまざま。英語のほうも、バイインガルの人から、ようやく英検準2級の人までさまざまです。こうしてあらゆる面で多種多様な学生が集まり、それぞれの個性と長所がぶつかり合うことによって、わめて活発な雰囲気が生まれています。話し下手な人も、「プレゼンならできる」に変身していくのは不思議なほどです。音楽のみならず人生に成功してほしい、それがMLA専攻のポリシーです。

卒業生



それぞれの個性を伸ばしてくれる、自由に音楽ができる場なのです。

宮下 まゆき 2022年大学卒業(浜松学芸高等学校卒業) 第17回東京音楽大学コンクール ピアノ部門第1位

私はアメリカに住んでいたので、英語を話す環境があり、またピアノに打ち込みたかったので、英語と音楽を勉強することができるMLA専攻は私に最適でした。MLA専攻は少人数なので皆仲がよく、向上心をもっているので互いにいい刺激となります。音楽という枠にとどまらず、視野が広がりますし、個性ある仲間との出会いもおもしろいです。音大といえど学び方は人それぞれなので、自分らしい学びを追求してほしいです。

東京音楽大学はそれぞれの個性を伸ばしてくれる、自由に音楽ができる場です。自分のやりたいことは何であるかを常に模索し、全力で向かっていってほしいです。

## 担当教員

【教 授】 大竹 紀子\*

岡田 敦子\*

リック オヴァトン

【客員教授】 渡辺 国彦

※ アカデミック・アドバイザー

【特 任 教 授】 旭 耕一郎

高岡 明

中野 明彦

【特別招聘教授】 藤崎 一郎

柴崎 かがり

竹内 佐和子

ショセフ ポーシャック

【准教授】 早坂 牧子\*

川瀬 純子

キム ロッケル

コリン クリストイナ シュムコ

パトリック ハイン





## 吹奏楽をより深く、アカデミックに学ぶ。

正しい吹奏楽の知識をもった指導者を育成し、その資質を武器にメディアや音楽関連企業、一般企業など業種を問わず社会で活躍できる人材を世の中に送り出すことを目指します。よい指導者である前によい演奏家、よい音楽家となるために、個人レッスンや合奏の授業を通して確かな技術と豊かな音楽性を獲得します。学生一人ひとりに合わせた個性を引き出す授業科目を多く用意し、学生が希望する進路に合わせた学修内容を選べる、専攻独自のカリキュラムを構成しています。

- 「バンドディレクション」では、さまざまな指導法に触れ、方法論や計画性、コミュニケーション能力を身につけます。
- ワークショップでは吹奏楽にまつわるさまざまな職業の実地に立ち会うなど、実体験をします。
- 吹奏楽で用いられるすべての楽器に関する知識を身につけ、指導法や作編曲に結びつけます。
- 段階的に設定された理論系の授業で学ぶことで、吹奏楽の作編曲の能力を修得します。
- マーチングやポップス、作曲など専門性の高い分野に関する知識と能力をより深化させる授業科目も充実しています。

# 吹奏楽アカデミー専攻



## 主なカリキュラム

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター
必修科目	専攻科目	専門楽器実技 バンドディレクション 吹奏楽合奏	専門楽器実技 バンドディレクション 吹奏楽合奏	専門楽器実技 バンドディレクション 吹奏楽合奏	専門楽器実技 バンドディレクション 吹奏楽合奏	専門楽器実技 バンドディレクション 吹奏楽合奏	専門楽器実技 バンドディレクション 吹奏楽合奏	専門楽器実技 バンドディレクション 吹奏楽合奏
	専門基礎科目	ピアノ(副科) ソルフェージュ 和声 西洋音楽史概論	ソルフェージュ 和声 吹奏楽史	作曲法	—	—	—	—
	英語	英語コミュニケーション	英語コミュニケーション	—	—	—	—	—
教養科目	教養演習	—	—	—	—	—	—	—

【選択科目】 専攻科目：楽器別指導法、ワークショップ、管打アンサンブル、指揮法演習、吹奏楽作編曲、スコアリーディング、吹奏楽ポップス研究、マーチング演習

## メッセージ

教員



夢は見るだけでなく、つかみ取ろう。

教授 小串 俊寿

「バンドディレクション」では全国で活躍されている教育現場の先生方をお招きして、吹奏楽指導法や運営法、ゼロからのバンドの立ち上げ方など、将来現場に立った時に実践できる生きた講座を開催します。また、「吹奏楽合奏」では、吹奏楽アカデミー専攻講師陣が常に合奏と一緒に入って演奏しながらアドバイスをし、合奏指導と「指揮法」は下野竜也特任教授を中心に、小林恵子講師、横山奏講師の3人が指導します。このほかにもすべてが実践的で魅力あるカリキュラムになっています。この世界、時には壁にぶち当たりますが、その壁を乗り越えた時、楽しさは何倍にもなる。さあ、一緒に夢に向かっていきませんか？

在学生



楽器の垣根を越え、先生方と演奏できる刺激。

藤本 知子 吹奏楽アカデミー専攻 サクソフォーン4年(埼玉県立大宮高等学校卒業)

音楽大学を目指すうだなんて思ってもいなかった私ですが、今まで熱中してきた吹奏楽を学べる魅力的な専攻が新設されたことを知り、進学を決めました。実際に過ごして感じる吹奏楽アカデミー専攻のほかにはない魅力は、楽器の垣根を越えて先生方とともに演奏する機会があることです。自分の専攻楽器からの目線だけでなく、多角的なご意見をいただくことができます。本専攻は演奏だけでなく指揮、作編曲、マーチングなど幅広く扱っています。フレキシブルな部分も多いので、どう学び、なにを目指していくか…この環境の生き方は自分次第です。やる気がある人にとってみれば、自分の気持ちを届けやすかったり、熱い気持ちには全力で応えてくださる先生方との距離が近かったりなど、こんなにも恵まれた環境はありません。決して部活の延長線ではない、もっと深い部分で吹奏楽が学べる吹奏楽アカデミーで過ごす日々は、とても刺激的になると思います。

## 担当教員



【教 授】 小串 俊寿(サクソフォーン) 中橋 愛生(作曲/理論)

【特任教授】 久保 昌一(打楽器) 下野 竜也(指揮)

天野 正道(作曲)

星出 尚志(作曲/ポップス)

【専任教員】 木村 圭太(チューバ)

【講 師】 山内 豊瑞(フルート) 堀口 寛一(オーボエ) 近藤 薫(クラリネット)

原 浩介(クラリネット) 中川 日出鷹(ファゴット) 萩沼 雅紀(サクソフォーン)

石川 善男(ホルン) 荻原 明(トランペット) 渡邊 善行(トロンボーン)

川野 聰子(ユーフォニアム) 平子 ひさえ(打楽器) 坂本 雄希(打楽器)

藤井 将矢(コントラバス) 小林 恵子(指揮) 横山 奏(指揮)

海老沢 慶人(マーチング) 松下 倫士(スコアリーディング) 近藤 隆史(情報・コンピュータミュージック)



## グローバル教育



### TCMで国際性を身につける

「音楽は国境を越える」を信念に、グローバル時代に対応する人材を育成するため、本学ではさまざまな交流プログラムを用意しています。ヨーロッパの名門音楽大学と提携を結び、毎年交換留学や教授陣の招聘を行っています。バイエルン州立青少年オーケストラと提携し、ドイツ・イタリアで行われる合宿と演奏のツアーに年2回学生を派遣しています。近年は、イギリスのサセックス大学や、ハーダースフィールド大学などトップレベルの総合大学にも正規留学生を送り出しているほか、アジアにおける音楽文化の興隆を受け、中国、韓国、インドネシア、台湾、ブータンの音楽大学と交歓演奏会やイベントなど活発な交流を行っています。

ハノーファー音楽・  
演劇・メディア大学(ドイツ)に  
短期留学



久保 美結

ピアノ演奏家コース  
2023年大学卒業(都立総合芸術高等学校卒業)

はじめてひとりで行った海外、大変ながらもたくさんの学びと刺激に溢れた幸せな日々でした。レッスンはソロ、アンサンブルのほかに古楽器も受講しました。バロック、古典を中心とした楽曲を教えていただき、古楽器の奏法やその時代の音楽を深く学べました。おかげで音楽への向き合い方、考え方、表現のアイディアも広がりました。いろんな国籍、年齢、感性をもった優秀な学生との試験会でも多くの発見がありました。ドイツの街並みは大変美しく、歩きながら音楽のことを考えるのも至福の時間でした。短期留学を経て、音楽をもっと学びたい、多くの音楽家と出会い、音楽を通して幸せを共有したいという思いが強まり、人生の転機となりました。

「バイエルン青少年  
オーケストラ合宿・演奏会」  
プログラム(ドイツ)に参加



川井 愛永

ヴァイオリン  
2023年大学卒業(東京音楽大学付属高等学校卒業)

卒業目前のバイエルン青少年オーケストラ参加でしたが、私にとって夢のような2週間でした。出発2週間前に卒業試験を終え準備も十分とは言えない中の旅立ちでしたが、一緒に参加した仲間やドイツのあたたかい方々にたくさん助けられ支え合って生きていることを切に感じました。毎日違うホールに移動して同じプログラムを演奏するという貴重な体験をさせていただきました。同じ演目の演奏会とは思えないくらい毎回違った緊張感、「昨日よりも、よりよい演奏を」という全員の強い気持ちがありました。一瞬一瞬を全力で楽しんでいる様子、自由にのびのびと音を楽しめる環境を日本でもつくりたいと思いました。

認定交換留学制度を利用し  
サセックス大学に正規留学



佐々木 佑紀

ミュージック・リベルアーツ専攻  
2021年大学卒業(青山学院系属 浦和ルーテル学院高等学校卒業)

東京音楽大学は単科大学なので、留学をするなら総合大学にと決めていました。留学中の本学の学費免除と単位認定は、音楽を続けながらほかの分野を真剣に学ぶ機会として留学に踏み込む際の大きなメリットでした。映画のサウンドデザイン、国際マーケティングや経済学、心理学などを日本の音楽大学とは異なる学び方で勉強でき、他領域の知識を組み合わせて将来に生かせることが利点です。東京音楽大学とサセックス大学両学での学びは、ロンドンでの就職につながる大きな一步であり、人生の中でも収穫の多い経験でした。

## マスタークラス



Eliso Virsaladze  
エリソ・ヴィルサラゼ

### 世界で活躍する演奏家や教授からの直接指導

本学の大きな特徴として、国内外の招聘音楽家によるマスタークラスが挙げられます。本学のキャンパスで世界のトップレベルの演奏家や教授のレッスンを受けることができ、このような機会をステップにして留学する学生や、コンクールで優秀な成績を収める学生も数多く、将来の夢を叶える一助になっています。

世界的に有名な先生の特別レッスンが、一生の財産に。

佐川 和冴 2021年大学卒業 2023年大学院修士課程器楽専攻鍵盤楽器研究領域(ピアノ)修了  
(東京音楽大学付属高等学校卒業)



ミシェル・ペロフ先生は世界中の優秀な生徒を指導してきたすばらしい先生であることを存じ上げていたので、レッスンを受けられたことは大きな財産となりました。はじめて自分の演奏を聴いて、はじめて自分のことを知ってくれた先生からのアドバイスはとても新鮮で、弾き慣れていた曲を演奏した際に、自分の中の音楽作りとは全然違うフレーズやラインを見つけてアドバイスをしてくださり、いざ演奏してみると曲のよさがより伝わるように変化し、大きな成長を感じました。世界的なピアニストや演奏家の特別レッスンを受けられるマスタークラスは、ピアニストを目指す学生として一番ためになる授業でした。あこがれの人に聴いてもらうことは緊張感がありますがワクワクもする、なかなか経験できないことだと思います。

### Pick Up!

#### 音楽で他者と共感する

切磋琢磨し合う仲間や専攻の垣根を越えたアンサンブルとの出会いが、音楽探求を通じた人間形成の場となります。



他者の音と響き合った時の  
感動が私の心を震わせた。

大附 仁美

声楽演奏家コース 2020年大学卒業  
(埼玉県立大宮光陵高等学校卒業)

アンサンブル。それは音楽を通じて、共演者と交わし合うコミュニケーションの一種です。アイデンティティの主張が少々激しい私にとって、人とうまく調和することは難しくも興味深いもの。先輩ピアニストとの即興演奏や、オペラの授業でプロの先生方と紡いだ重唱。作曲科の友人が書き下ろした新曲を歌ったり、寮生活の卒業記念に行った演奏会では、卒寮生による即席オーケストラをバックにオペラ「カルメン」のアリアを披露しました。私だけがもち得ている音が、ほかの誰かの音と響き合った時、心が震えるような感動を味わうのです。東京音楽大学で経験したこれら一つひとつが、私の音楽観も、私という人間も大きく成長させてくれました。



呼吸を合わせて同じ空気を  
共有するすばらしさを感じて伴奏の道に。

榎本 詩帆

2020年大学院修士課程鍵盤楽器研究領域(伴奏)修了  
ピアノ演奏家コース 2018年大学卒業(千葉県立富里高等学校卒業)

東京音楽大学は、互いに助け合い、切磋琢磨しながら成長できる、同世代の音楽を志す仲間とたくさん出会える場所です。自分の専攻はもちろん、ほかの楽器や声楽の方と一緒に演奏する機会が多かったことが、私の音楽に対する考え方を大きく変えてくれました。アンサンブルを通して呼吸を合わせ、同じ空気を共有できるということ、ソロとはまた違った楽しさ、音楽のすばらしさを感じることができたため、大学院から伴奏の道に進みました。室内楽や伴奏法、ピアノデュオ講座などアンサンブルの授業も充実しているので、先生方からの専門的なアドバイスを受けながら、たくさんの仲間と素敵な音楽体験をしてください!

*Master Class*



## 教職課程

### 教育現場で役立つ実践的カリキュラムで、課題に取り組む

教職課程において、法律に定められた所定の単位を修得することで教育職員免許状を取得することができます。本学では、教育職員免許状を取得した後に大事になる「人間性や社会性」を培う場としての教育を行っています。今後も講座内容を充実させるとともに、きめ細かな指導を通して、実際の教育現場で活躍できる音楽教師を育成していきます。

履修にあたっては、次のような教員となるべく明確な目標意識をもつよう指導しています。

- 教師として使命感や誇り、子どもに対する愛情や責任をもつ。
- 教師として確かな力量を備え、常に学習する意欲をもつ。
- 教師として豊かな人間性や社会性、人格的資質をもつ。

#### ■ 取得できる免許状

- 中学校教諭一種免許状  
(音楽)
- 高等学校教諭一種免許状  
(音楽)
- 小学校教諭二種免許状  
(明星大学通信教育部との  
教育業務提携による免許状取得)

#### ■ 教職に関する科目・講座

模擬授業を行う「音楽科教育法」「教職実践演習」など、実際の教育現場を意識した授業内容となっています。また、就職支援プログラムとして教員採用試験に必要な面接や小論文対策を行う「教員養成講座」を実施しています。

**【必修科目】**  
教職論 教育原理 教育心理 特別支援教育概論  
教育経営論／教育行政学 教育課程概論  
教育の方法と技術(情報通信技術の活用含む)  
音楽科教育法 道徳教育指導論  
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 生徒・進路指導論  
教育相談概論 教職実践演習(中・高) 教育実習

**【選択科目】**  
教職課程管弦楽 教職課程吹奏楽

#### ■ 教員 2023年 教員新規採用者数

	東京都	埼玉県	千葉県	神奈川県	他 県	合計
国公立	13名	2名	1名	2名	3名	21名
私立	2名	2名		1名	2名	7名

卒業生の  
約2名に1名が  
教育職員免許状  
を取得

2022年度卒業生

## Teacher Training

にする心  
・社会の一員であるという自覚を

福祉施設などのボランティア活動など・・・



## 教職課程管弦楽・吹奏楽

毎年多くの学生が履修する、本学独自の科目です。最大の特長は「自分の専攻以外の楽器」を体験できること。自ら苦労しながら合奏を経験することで、はじめての楽器を前にして上手に演奏できない子どもの気持ちを理解し、さらにはアンサンブルのよろこびとともに団体行動における指導方法まで実践から学べます。合奏では各パートの教員が隣で一緒に演奏するため、「本物の音」を知る経験が得られます。実際に教壇に立った時、また、部活動で教える際にも生きてくる有意義な授業です。

未来を創る  
児童の教育に関わる、  
やりがいのある仕事。



西田 梨央

浦安市立入船小学校 教諭  
ピアノ 2021年大学卒業

同じ目標に向かって  
本気で挑む仲間たちが  
心の支えに。



橋本 果音

千葉市立松ヶ丘中学校 教諭  
ピアノ 2019年大学卒業

ピアノと同じくらい  
のめり込んで、楽しく勉強  
できた教職課程。



今川 雪菜

東京都立総合芸術高等学校 教諭  
ピアノ 2020年大学卒業

教職課程では、音楽教育に関する専門的な知識を、教職課程吹奏楽では、音楽の楽しさと吹奏楽についての知識を深めることができます。先生方は親身になって相談にのってくれる優しい先生ばかりで、安心して勉強に励めました。私も児童に信頼される教員になりたくて、児童の気持ちに沿った言葉かけを心がけています。教員は、未来を創る児童の教育に関わる仕事。指導したことに対する意欲や存在意義を感じます。音大での経験は、社会に出ても自分を支えてくれる武器になります。地道な実技の練習によって培われた集中力や忍耐力、厳しいレッスンで鍛えられた精神力は、教員にかかわらずどんな仕事でも役に立つと思います。

中学生の頃から夢だった教職の仕事に就きたくて、教職課程が充実している音楽大学を探しました。そこで、多くのことに挑戦させてくれる東京音楽大学を魅力的に思い進学を決めました。付属高校では専攻科目のほかに吹奏楽の授業を受け、大学では教職課程と第2副科を履修するなど、さまざまなことに挑戦しました。また、「教職特別演習」も履修しました。この講座には本気で教員採用試験に挑む仲間が多くいるため、面接練習を中心に採用試験で必要な勉強を皆で切磋琢磨しながら学びました。試験勉強と実技の練習が忙しく、前向きな気持ちだけでは取り組めない時も、ライバルであり、大切な仲間でもある皆のおかげで乗り越えることができました。ぜひ履修してほしい講座のひとつです。

※2022年度より教員養成講座

## Pick Up!

### 教員養成講座

教員を目指す2年次から4年次の学生を対象に、就職支援プログラムのひとつとして「教員養成講座」を開講しています。この講座では、教員採用試験の「教職教養」・「専門教養」の筆記試験対策のほか、「論作文試験」・「面接試験」の対策ができる内容となっています。

#### 担当教員

【教 授】白倉 孝弘	村中 洋子	【専任講師】伊藤 民子
和田 崇		荒井 智子*
【客員教授】関本 恵一	瀧口 亮介	大橋 永児
【特任教授】工藤 豊太		大平 紹美*
【准 教 授】小熊 利明	矢田 訓子	奥村 高明
		齋藤 博志
		橋本 純里子
		藤田 主一
		吉澤 徹*
		古山 光久
		*
		※ 教職オーケストラ



### アートマネジメントを学ぶ ACTプロジェクト

学内外で行われるコンサートの企画・制作・広報を実践する「学生による音楽事務所」で、アートマネジメントの仕事を学年や専攻を越えたチームで実体験できます。活動にあたっては、複数の教職員が協働して指導・サポートするのが特徴で、企画力、コミュニケーション能力、リーダーシップやプレゼンテーションのスキルが養われます。

社会に出た時に、  
周りよりも一步  
リードしていると実感。

大学時代の学びが、  
仕事をする上で  
今も役立っています。

#### Pick Up!

#### キャリアデザイン論

大きく変化していく社会の中で、どのように自身のキャリアを築いていくかを考える。

「キャリアデザイン論」では、自身と自身を取り巻く社会の状況を理解し、将来に向かい、これからの大學生生活をどのように過ごしていくか明確にすることをねらいとしています。学生の皆さんのがんばりを整理しながら、プレゼンテーションやワークショップを通じ、自己と向き合い「自身の強み」を明確にして「やりたいこと」「できること」にし、将来につなげていきます。毎回の課題の中で、自分自身について具体的な言語化を行い、社会や雇用の変化を理解してもらっています。音楽を中心としながらも、世の中を広く深く見つめ社会的視野を養うことで、自身の描くキャリアに向け、自らが具体的な行動を起こせるような講座内容を構成しています。

担当教員 山本 みどり



### 一人ひとりに寄り添う相談・指導で進路を拓く

音楽大学で学ぶ学生は、レッスンやアンサンブルなどを通じて、「独創性」「協調性」「主体性」を身につけています。これらは企業が採用に際して強く学生に求める資質であり、本学の卒業生を採用した企業からも高く評価されています。また「就職対策講座」では、企業研究、面接対策など、就職に役立つ実践的な指導を行っています。

#### 就職支援プログラム

進路決定をする上でニーズの多い情報やアドバイスが、必要な場面で提供できるようにプログラムを準備しています。各種プログラムは主に3・4年生を対象としていますが、1・2年生で関心のある学生も参加できます。

#### ■ 就職ガイダンス

就職活動をはじめるにあたり、どのような流れで選考が行われるのか、そのためにはどんな準備が必要なのかを説明します。また、それらの対策に適したキャリア支援センターの活用方法や各種セミナーも紹介します。

#### ■ 先輩の就活を聞く会

就職活動を終えたばかりの先輩たちから、直接就職活動について話を聞くことができる機会です。実際にどのような面接だったか、選考で苦労したことや内定先を志望した理由などを聞くことができます。

#### ■ 個別面談

進路は人それぞれであり、就職活動中はその時期によって悩みの内容も変わってきます。キャリアカウンセリングの資格をもったスタッフが対応し、どのように行動していくか一緒に考えます。

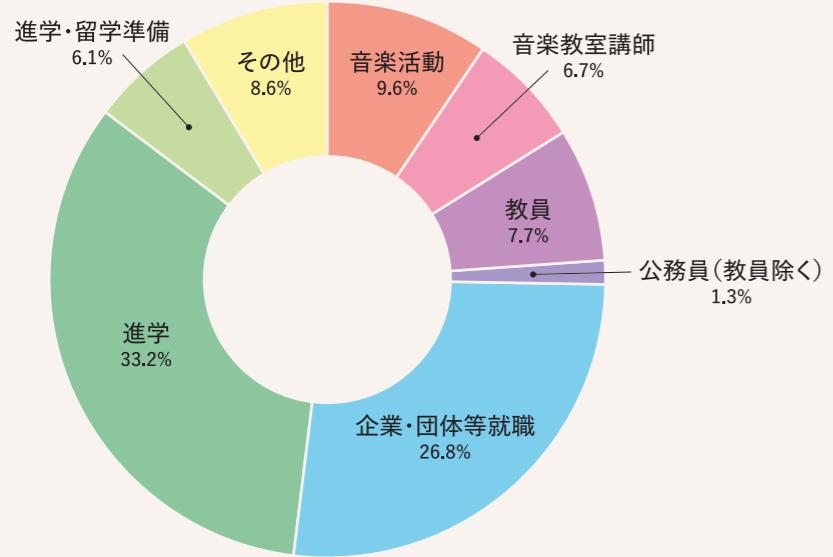
#### ■ 各種グループワーク・講座

「学生時代に力を入れたこと」「自己PR」の作成講座、「グループディスカッション体験」など、少人数で意見を交換しながら進めています。他者に説明したり、言語化していく中で、無自覚だったことを意識化することができます。

#### ■ 音楽活動・音楽業界志望者向け講座

フリーランスとして演奏家を希望する方向けの「確定申告講座」や、音楽に関わる民間企業を志望する方向けの「音楽関連企業講座」を開催しています。

## 卒業生の進路 (2023年3月 学部卒業生)



## ■ 進学

東京音楽大学大学院  
東京音楽大学付属オーケストラ・アカデミー  
東京藝術大学大学院  
愛知県立芸術大学  
国立音楽大学大学院  
千葉大学大学院  
東京都立大学大学院  
日本工学院専門学校  
日本オペラ振興会

## ■ 公務員

陸上自衛隊音楽隊  
航空自衛隊音楽隊  
文部科学省

## ■ 音楽教室講師

ヤマハ音楽教室  
カワイ音楽教室  
島村楽器

## ■ 教員

※P30 参照

## 企業・団体など (2023年3月 学部卒業生)

【商社・小売】  
横浜ビル建材株式会社  
株式会社貴和製作所  
株式会社マッシュビューティーラボ  
株式会社ルネ  
株式会社山野楽器

【製造】  
日本ダブルリード株式会社  
株式会社河合楽器製作所  
株式会社坂角総本舗  
株式会社ヤマハミュージックマニュファクチャリング

【インターネットサービス】  
アマゾンジャパン合同会社  
【ゲームソフト】  
コナミグループ  
株式会社Cygames

【ソフトウェア・情報処理・書籍】  
株式会社DTS  
株式会社シンコーミュージック・エンタテイメント  
【放送・広告】  
株式会社ジマックス  
株式会社ハマーテレビジョン

株式会社クラリシオン  
株式会社博報堂DYメディアパートナーズ  
ディップ株式会社

【サービス】  
株式会社ミリアルリゾートホテルズ  
株式会社マイナビ  
マンパワーグループ株式会社

【教育機関】  
学校法人河合塾学園ドルトンスクール東京

ほか

## 演奏団体 (卒業生の主な進路実績)

NHK交響楽団  
新日本フィルハーモニー交響楽団  
東京交響楽団  
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団  
東京都交響楽団  
東京ニューシティ管弦楽団  
東京ユニアーサル・フィルハーモニー管弦楽団  
東京フィルハーモニー交響楽団  
日本フィルハーモニー交響楽団  
読売日本交響楽団  
札幌交響楽団  
仙台フィルハーモニー管弦楽団  
山形交響楽団  
群馬交響楽団  
神奈川フィルハーモニー管弦楽団  
オーケストラ・アンサンブル金沢  
セントラル愛知交響楽団

名古屋フィルハーモニー交響楽団  
大阪交響楽団  
大阪フィルハーモニー交響楽団  
関西フィルハーモニー管弦楽団  
日本センチュリー交響楽団  
兵庫芸術文化センター管弦楽団  
広島交響楽団  
九州交響楽団  
千葉交響楽団  
富士山静岡交響楽団  
中部フィルハーモニー交響楽団  
東京佼成ウインドオーケストラ  
東京吹奏楽団  
自衛隊音楽隊  
警察音楽隊  
東京消防庁音楽隊  
レーベンスブルク歌劇場管弦楽団  
劇団四季

ほか

## 卒業生からのメッセージ 企業・団体



蓮尾 愛莉

アマゾンジャパン合同会社  
ピアノ 2023年大学卒業(玉川学園高等部卒業)

数々の挑戦を重ね、  
本命の企業へ。



ヤン ヨン ジン  
梁 永鎮

株式会社スクウェア・エニックス サウンドデザイナー  
作曲指揮専攻 2022年大学院修士課程作曲指揮専攻作曲研究領域修了(韓国芸術高等学校卒業)

幼い頃から日本の劇伴にあこがれ、東京音楽大学大学院に通った2年間は、とても貴重な時間でした。どの音に対しても細密に探究し、作曲に生かしていく姿勢は、一生大切にしていくべきだと思います。そして、このような研究と作曲を引き続きやっていくため、就活しようと決心し、東京音楽大学のキャリア支援センターにお世話になりました。その中で特に有意義だったのは、「自己分析」です。就活に限らずどんな音楽を作っていくのか、どのようになりたいのか、自分自身を知るきっかけになると思います。それを踏まえて、自分がやりたいことを決めて、幅広い音楽の世界へチャレンジしてください。

自分自身を知って、  
音楽を世界中に  
届けるように。

## 卒業生からのメッセージ 演奏団体

大学で経験できることに  
無駄なことはない。



谷崎 大起

日本フィルハーモニー交響楽団  
2019年大学院修士課程器楽専攻弦楽器研究領域修了  
ヴァイオリン 2017年大学卒業

志の高い仲間と  
すばらしい先生方と。



牧 優吾

陸上自衛隊 中央音楽隊  
チューバ 2021年大学卒業

声楽の道へ先生方の  
手厚いサポートを  
受けた4年間。



大高 レナ

新国立劇場オペラ研修所 第24期生  
声楽演奏家コース 2021年大学卒業

私は3年生になったら全日本学生音楽コンクール大学部門にチャレンジするという目標を立てていました。そのためには1・2年生のうちに多くの単位をとる計画を立て、1限授業のために必死になって朝早く起きました。2年生からは楽しみにしていた「舞台基礎演技法」の授業で、複数の声楽の先生方、指揮者やコレベティールの先生、演出家の指導を毎週受けることができ、ますます歌に魅力を感じるようになりました。卒業後、あこがれの新国立劇場オペラ研修所第24期生として新しいスタートラインに立ちました。これもご指導くださる先生方、真摯に音楽に向き合う友人や先輩・後輩方、それから、やる気が湧いてくる大学のカリキュラムのおかげだと思っています。

## 東京音楽大学は、あなたの努力を応援します。

### 奨学金

#### ■ 東京音楽大学奨学金(返済義務なし)

本学では各種奨学金制度を用意しています。

2023年度は、特別特待奨学生9名、給費奨学生38名にそれぞれ支給されました。

##### ① 特別特待奨学生

全学費または理事会の決定による額を免除

##### ④ 家計急変者奨学金

授業料の全額もしくは一部を給付

##### ⑥ 大規模自然災害罹災学生授業料減免

被災状況により、授業料の全額または一部免除

##### ② 納入奨学金

年額100万円~30万円

##### ③ 入学奨学金

入学金に相当する額を奨学金として給付

##### ⑤ 短期留学奨学金

航空運賃・宿泊費・学費の補助

##### ⑦ 同一生計の複数就学者授業料減免

授業料の20%を減免



詳しくはホームページをご覗ください。

#### ■ その他の奨学金など

青山音楽財団、瀬木博尚記念芸術文化振興会、戸田育英財団、福島育英会、明治安田クオリティオブライフ文化財団、山田貞夫音楽財団、よんでもん文化振興財団などの民間財団が事業主体の奨学金があります。

また、人物・成績が優れ、経済的理由により就学が困難な学生に対しては、日本学生支援機構、地方公共団体・民間育英事業団体(貸与)などの奨学事業を紹介しています。詳細は学生支援課までお問い合わせください。

### 認定留学制度

- 留学中は本学および留学先教育機関への学費の二重の負担が発生しない制度を設けています。
- 1年間(2セメスター)までの留学期間中に海外で修得した単位は、審査の上、本学の単位として認定され、4年間での卒業が可能です。
- 留学に際して、安心できる留学先の選定、出願をはじめ、各種手続きなど、大学がきめ細かくサポートをします。

### 早期卒業制度

東京音楽大学は入学後3年間で卒業できる早期卒業制度を導入しています。器楽専攻の学生を対象として学部に3年以上在籍し、専攻実技が極めて優秀であり、本学が定める単位を優秀な成績をもって修得したと認められた場合、3年間の在籍で卒業ができます。

### 学費 参考:2023年度

	入学金(※1)	授業料(※2)	施設拡充費	施設維持費(※3)	合 計
春学期	300,000	743,500	390,000	135,000	1,568,500
秋学期	—	743,500	—	—	743,500

単位:円

※1 付属高等学校からの1年次進学者150,000円

※2 作曲指揮専攻 作曲「ミュージック・メディアコース」の授業料は、春・秋学期ともに 788,500円

※3 2年次より 145,000円

※ 学費以外に後援会費(毎年)、入会金(入学時)が必要です。

### TCM学生寮

「TCM学生寮」(女子寮)は、実家を離れて暮らす学生の生活および学びの環境を充実させることを目的として、2022年4月に池袋キャンパス敷地内に新たに開寮しました。

地上5階建て、124の全個室にWi-Fiを完備し、万全のセキュリティを誇ります。さらに学生寮を「キャンパス内」に配置することで、学修と生活を近づけるとともに、安全かつ安心な環境が整いました。

入寮する皆さんの毎日に彩りを与え、卒業後も記憶に残る学生生活を過ごせるよう、温かい環境を準備してお待ちしています。



### 学生相談室

学生相談室では、学生生活の中で生じる困りごとや悩みごとについてカウンセラーと話し合い、問題や課題を整理したり、解決に向けて方法を考えたりすることができます。

#### ■ カウンセリング

カウンセラーとの面談を通して、困りごとの解決の糸口を見つけていきます。

#### ■ 外部支援機関の紹介

クリニックや、外部支援機関の案内も行っています。

#### ■ 図書貸し出し

学生の困りごとに役立つ図書をそろえています。

図書の貸し出しだけの相談室利用もできます。

### 後援会

学部生および大学院生の保護者を会員とした組織です。一人ひとりの学生が、安心して充実した学生生活を送ることができるよう、さまざまな支援活動を行なっています。

■ 学生主催、学生出演の演奏会への支援

■ 音楽コンクール参加への支援

■ キャリアアップを志向した各種資格取得への支援

■ 防災用品充実への支援

■ インフルエンザ予防接種への支援

■ 大学への助成(学生相談室、図書館、楽器寄贈、コロナ対策)

### Pick Up!

## 東京音楽大学は、演奏会などでSDGsに取り組んでいます



### 音楽で広く社会に貢献する。

「社会に開かれた大学」を目指して、東京音楽大学は「音楽文化の振興」と「地域社会の活性化」に向けて、毎年多くの学生が多様なプロジェクトに積極的に参加しています。在学中に社会との接点をつくることで、単に演奏活動だけでなく卒業後のキャリア形成も踏まえ、学生たちが音楽を通じて地域社会の課題解決に取り組むことなどにより、自らが社会との関わりを探り人格形成に寄与できています。令和4年7月には「環境方針」を定め、これを具現化するためにSDGs推進センターを設置し、その下にSDGs推進学生委員会を組織しました。この推進センターでは、13の推進施策に基づく各プロジェクトをSDGs推進学生委員会が中心に進めています。



東京音楽大学SDGs推進センター

高度な専門性を養う



# 大学院音楽研究科

修士課程／博士後期課程

広い視野に立ち、音楽に関する精深な学術と技能を修得し、文化の進展に寄与する。

東京音楽大学は、1993年4月に大学院音楽研究科修士課程を設置し、その目的を「広い視野に立って、音楽に関する精深な学術と技能を修得させ、音楽専攻分野における研究能力と高度の専門性を有する職業等に必要とされる能力を養い、その深奥をきわめて、文化の進展に寄与すること」と定め、以来、広く音楽界で活躍できる演奏家や作曲家、教育者や研究者の養成に専心し、着々とその成果を上げてきています。

2002年および2013年に入学定員を増員するとともに、社会人および外国人留学生の特別選抜制度を導入するなど、社会的要請も踏まえて優秀な学生を輩出しています。

さらに、グローバル化と知識基盤社会が進展する21世紀において、高度な専門能力とその基礎となる豊かな学識をもつ音楽家、音楽研究者の果たす役割は極めて大きく、これらの人材の育成を目的とする「博士後期課程」を2014年4月に新設し、魅力的な研究環境のもとで研究教育を進めています。

## 大学院音楽研究科の特徴

音楽の各分野における専門的技能・知識と研究能力を身につけるとともに、国際性・多様性を兼ね備え、社会・文化に貢献できる人材輩出を目指し、経験豊かな教員によるきめ細やかな指導体制と実践的なカリキュラムを用意しています。

大学院についての授業内容、指導教員の詳細はホームページをご覧ください。  
大学院入学案内も別途ありますので併せてご参照ください。



## 修士課程

### 芸術の「伝統と創造」

社会の急速な変化の中で、音楽芸術の研究はその普遍性を追求するとともに、時代への即応も求められます。本学大学院では、芸術の「伝統と創造」を教育研究テーマとして実技中心の柔軟性あるカリキュラムと新分野の研究領域を開設し、高い能力と豊かな人間性を有する人材の育成に努め、ディプロマ・ポリシーに掲げる以下の能力が身につくカリキュラムを展開します。

- 1) 高度な専門的知識・技能と研究能力を身につけ、自立的で質の高い音楽活動を展開できること。
- 2) 旺盛な国際感覚をもち、多様な音楽的価値観を尊重できること。
- 3) 現代社会における音楽芸術のあり方について考察し、音楽による社会貢献ができること。

学位	■ 入学定員 70名
修士（音楽）	■ 資格 中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状（音楽）を有する者が、所定の単位を取得して本大学院修士課程を修了した場合は、中学校教諭専修免許状（音楽）および高等学校教諭専修免許状（音楽）を取得できます。
器楽専攻	■ 鍵盤楽器研究領域 ■ 管打楽器研究領域 ■ 弦楽器研究領域 ■ 室内楽研究領域
声楽専攻	■ 独唱研究領域 ■ オペラ研究領域
作曲指揮専攻	■ 作曲研究領域 ■ 指揮研究領域
音楽文化研究専攻	■ 音楽教育研究領域 ■ 音楽学研究領域 ■ ソルフェージュ研究領域 ■ 多文化音楽研究領域

### 器楽専攻

大学院では、知識と技術の修得にとどまらず、専門分野における研究課題を自ら定め、積極的に探究・努力し、客觀性と説得力のある答えを導き出すことが求められます。専攻楽器の個人レッスン「器楽実習」のほか、「器楽特殊研究」「楽曲分析演習」の授業を通して、専攻レパートリーのアナリーゼ、作曲家の人物像はもちろん、作品の時代背景、他の芸術分野などにも目を向け、より深い表現を目指します。加えて、室内楽、オーケストラ、吹奏楽の各実習を通して、さまざまな楽器の特性を意識し、より広い音楽的視野を備えたアンサンブル力も身につけることができます。修了時には1時間程度のプログラムを構成し、プログラム・ノート（プログラム構成の意図や楽曲解説）を添えて、自ら舞台で演奏表現します。



### 声楽専攻

声楽専攻は〈独唱研究領域〉と〈オペラ研究領域〉に分かれ、各々の特性を意識した実践力を総合的に修得します。

〈独唱研究領域〉では、個人レッスンのほか、各国の歌曲を専門とする教員による授業を通して、個々の音楽性や声にあった歌曲や宗教曲などを探し、修士演奏では自らプログラムを構成し、研鑽の成果を発表します。

〈オペラ研究領域〉では、指揮者、演出家、声楽家、コレベティトゥアから構成される万全の指導体制で、オペラを学ぶ最適な環境が用意されています。2年次の「オペラ総合実習」にて、各自演目を選択し、一部抜粋したプログラムを構成し、上演します。

また双方の領域学生が履修可能なオペラ特殊研究（通称：大学院オペラ）では、ヨーロッパや日本のオペラ作品について研究、演習を行い、実際に舞台で試演会を行います。



## 修士課程

### 作曲指揮専攻

〈作曲研究領域〉従来の現代音楽中心の「芸術研究」と、各種メディアに対応した実践的な「応用研究」に分かれ、自らの創作の基盤、起点となる課題に基づき、自主的な研究活動、発表を行うことで総合的な作曲能力の向上を目指します。

〈指揮研究領域〉高度で機能的な指揮の技法や幅広い音楽知識とともに、総合的な人間力を養います。高い見識と教養を身につけ、多様な人々と豊かな関係を築ける人間性をそなえた指揮者となることをを目指します。



### 音楽文化研究専攻

教育、音楽、多文化など各々の研究領域からの視点を切り口に、各自が研究課題を定め、研究成果として論文や課題を仕上げます。その過程での問題提起の仕方、解決のための調査・方法論や文献探索等の情報収集と考察、必要に応じて語学力の修得、演奏や創作の実践を学びます。

〈音楽教育研究領域〉教員養成の枠組みにとらわれず多様な音楽活動の場を想定して、音楽と社会と人間との関わりに目を向けて研究を行います。

〈音楽学研究領域〉音楽について学問的に調べ、言葉によって論ずる…その過程で身につく調査・考察・文章化・プレゼンテーション能力は、修了後、多様な分野での活躍を可能にします。



〈ソルフェージュ研究領域〉楽曲の総合的理解・把握・解釈を可能にする高度な読譜力を修得するとともに、オンラインを含む教育研究などPCを活用した音楽教材研究等にも取り組みます。

〈多文化音楽研究領域〉世界各地の伝統的な音楽文化を現代社会における文化の多様性の視点から探究し、新たな音楽文化を創造し、発信していくことをを目指します。

## 博士後期課程

### 「音楽の各分野における高度な専門性」「総合的な知見」「社会的・実践的能力」

これらを兼ね備えた音楽家、研究者を育成し、音楽文化の新たな地平を積極的に拓いていく人材を社会に送り出しています。

#### 音楽専攻

- 学位 博士（音楽）・博士（音楽教育学）・博士（音楽学）
- 入学定員 3名（社会人および外国人留学生を含む）

### 博士後期課程・音楽専攻

実社会で活躍していくために必要な専門性、総合性、社会的・実践的能力の獲得を目指し、「専門研究科目」（選択必修）において専門性を高め、「共同研究科目」（選択必修）においてより広い知見と社会的・実践的能力を培い、「総合研究科目」（必修）においては、より広い知見を獲得するとともにそれらを総合し、博士論文や博士演奏、博士作品制作などを行うよう授業科目を配置しています。学位取得者には本学で教育・研究活動を継続できるキャリアパスも開かれています。



### 特徴的な指導方式

「共同研究科目」では、さまざまな専門の学生と教員が協働して、コンサート企画・開催や研究論文集作成などのプロジェクトに取り組み、本学博士課程における指導・研究体制の大きな特色となっています。

**特徴的な指導方式** 各分野の第一線で活躍する教員の指導の下、専門的な知識に裏付けられた演奏実践能力と探究・研究能力の双方を身につけられるカリキュラムを用意しています。

### メッセージ



卒業生

プロとして生きていくための技術や知識、心構えを養う。

石井 晴菜

舞台俳優

2023年大学院修士課程声楽専攻オペラ研究領域修了  
声楽専攻 2021年大学卒業（愛知県立明和高等学校音楽科卒業）

大学院に進学し、学部と一番大きく違うと感じたのは自分の興味をとことん掘り下げていける環境があるという点でした。私の場合、専門であるオペラは「オペラ特殊研究」と「オペラ総合実習」で研究させていただき、興味のあった歌曲分野も「歌曲分析演習」でドイツ語やロシア語の歌曲を中心に研究させていただきました。

「オペラ総合実習」では、自分で選んだオペラシーンを指揮・演出・音楽指導の先生についていただき一年かけて研究していきます。学生は自分ひとりという大変贅沢な環境で、音楽的な技術はもちろん今後舞台人として生きていくために必要な要素をすべてご指導いただきました。これからプロとして生きていくことを前提として進めてくださった授業は、大変ありがたく学びの多い時間でした。



卒業生

### メッセージ

じっくり時間と労力をかけることが、搖るぎない実力となる。

竹内 杉

国立大学法人愛媛大学教育学部 音楽教育講座専任講師（管楽器）  
2023年大学院音楽研究科博士後期課程クラリネット修了  
2011年群馬大学教育学部 音楽専攻卒業

修士課程、博士後期課程を経て気づいたことは、自分は音楽についてまだ知らないことだけだということでした。だからこそ生涯を通して、さまざまな角度から音楽を探求し続けたいと今の私は胸を張って言えます。

最近、タイム・パフォーマンス（タイバ）という言葉を聞きますが、音楽の研究は一般的な尺度からすれば時間対効果が高くないことも多く、目に見える成果や実力がすぐに得られずに焦ったり、将来のことでの不安になったりすることもあると思います。しかし学校という守られた環境で、先生方の温かな眼差しの下、音楽に没頭できるのは学生の特権です。時間と労力をじっくりかけるからこそ見つけられること、磨き上げられたことは、なにものにも代え難い搖るがねになると思います。卒業後は、自分の力だけで自分を成長させなければなりません。今しかできない貴重な期間に、音楽と向き合う力をぜひ鍛えてほしいと思います。



## 2022年度 主なコンクール等入賞者

掲載しているのは一部です。ホームページをご覧ください。  
※学年は受賞時の学年、副賞はひとつのみの掲載。

コンクール名	受賞部門	受賞内容	氏名	専攻・学年/卒業年
第16回ヘンリク・ヴィエニヤフスキ国際ヴァイオリンコンクール		第1位、ヴィエニヤフスキ・コンチェルト賞ほか	前田 妃奈	ヴァイオリン 2年
第11回インディアナポリス国際ヴァイオリンコンクール(アメリカ)		第3位、ベストパフォーマンス賞	吉田 南	アーティストディプロマコース
第24回ホテルオークラ音楽賞			辻 彩奈	アーティストディプロマコース
第91回日本音楽コンクール	オーボエ部門	第1位、岩谷賞ほか	榎 かぐや	オーボエ 2022年卒業
第91回日本音楽コンクール	ピアノ部門	第3位	藤平 実来	大学院修士課程鍵盤楽器研究領域(ピアノ)1年
第91回日本音楽コンクール	声楽部門	入選	一條 翠葉	大学院修士課程声楽専攻2014年修了
第8回仙台国際音楽コンクール	ピアノ部門	第3位	太田 糸音	ピアノ演奏家コース・エクセレンス 2020年卒業
第20回東京音楽コンクール	金管部門	第1位	吉田 智就	大学院科目等履修生管打楽器研究領域(ホルン)1年
第20回東京音楽コンクール	ピアノ部門	第2位	藤平 実来	大学院修士課程鍵盤楽器研究領域(ピアノ)1年
第37回日本管打楽器コンクール	サクソフォーン部門	第1位、内閣総理大臣賞ほか	五十嵐 健太	サクソフォーン3年
第37回日本管打楽器コンクール	マリンバ部門	第2位	常盤 純生	大学院修士課程管打楽器研究領域(打楽器)2013年修了
第37回日本管打楽器コンクール	オーボエ部門	第3位	榎 かぐや	オーボエ 2022年卒業
第37回日本管打楽器コンクール	マリンバ部門	入選	尾崎 夏子	打楽器 4年
第37回日本管打楽器コンクール	パーカッション部門	入選	丸山 由華	打楽器 2012年卒業
第76回全日本学生音楽コンクール	チェロ部門	第2位	鈴木 海市	アーティストディプロマコース
第76回全日本学生音楽コンクール	チェロ部門	第3位	利倉 央次朗	チェロ 4年
第76回全日本学生音楽コンクール 東京大会	声楽部門 大学の部	第3位	老川 鈴唄	声楽特別演奏家コース 3年
第11回フランツ・シューベルトと現代音楽のための国際室内楽コンクール(オーストリア)	リート部門	第3位(1位なし)、ジュディス・ウイアーによる委嘱作品の最高の解釈に対する特別賞	海老名 邙香	大学院修士課程鍵盤楽器研究領域2016年修了
第2回松村賞			福丸 光詩	大学院修士課程作曲研究領域2年
第28回奏楽堂日本歌曲コンクール	作曲部門	第1位	片山 栄	大学院修士課程鍵盤楽器研究領域2021年修了
第12回アメリカ国際ハープコンクール(アメリカ)		第7位	景 晨陽	大学院科目等履修生弦楽器研究領域(ハープ)1年
第46回ビティナ・ピアノコンペティション	Pre特級	聴衆賞	塩崎 基央	ピアノ演奏家コース 2年
第4回ラフマニノフ国際ピアノコンクールJAPAN	G部門	グランプリ、ラフマニノフ賞ほか	工藤 桃子	ピアノ演奏家コース 4年
第2回日野原賞	論文部門		関根 薫	ピアノ 1988年卒業
第4回BMI国際指揮者コンクール(ルーマニア)		第1位	岡本 陸	指揮 2021年卒業
第4回BMI国際指揮者コンクール(ルーマニア)		特別賞	広田 華奈子	指揮 2022年卒業
次世代指揮者アカデミー&コンクール		第3位、オーケストラ賞ほか	喜古 恵理香	大学院修士課程指揮研究領域2014年修了
第5回マルゲリータ・グリエルミ声楽コンクール	新進歌手部門	第2位	金澤 実李	大学院修士課程オペラ研究領域2年
第32回日本管打・吹奏楽アカデミー賞	特別部門		甘粕 宏和	フルート 2000年卒業
第24回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA	コンチェルトC部門	アジア大会金賞、特別優秀賞ほか	坂口 奈々美	ピアノ演奏家コース 1年
第5回東京国際マリンバコンクール		第3位、審査員特別賞	黒田 葉々花	打楽器 2022年卒業
第5回東京国際マリンバコンクール		第4位	小川 冬音	打楽器 2年
第28回KOBE国際音楽コンクール	C部門声楽部門	優秀賞／神戸市教育委員会賞	原 佑斗	大学院修士課程独唱研究領域2年
第26回みえ音楽コンクール	声楽部門 大学生・大学院生の部	第2位	原 佑斗	大学院修士課程独唱研究領域2年
第23回大阪国際音楽コンクール	弦楽器部門 ハープ[シニア]	エスボアール賞	筒井 裕子	ハープ 3年
第23回大阪国際音楽コンクール	弦楽器部門 Age-U	エスボアール賞	田中 千鶴	ヴァイオリン 1年

ほか多数



## 東京音楽大学はチャレンジの精神を大切にします。

本学の学生はコンクールに意欲的にチャレンジし、毎年の入賞、入選者は100名を超えます。

音楽家の登竜門とも言われる国内外のコンクールで優秀な成績を収め、現在第一線で活躍している卒業生が数多くいます。



前田 妃奈

ヴァイオリン3年  
(東京音楽大学付属高等学校卒業)

### 第16回ヘンリク・ヴィエニヤフスキ国際ヴァイオリンコンクール第1位 ヴィエニヤフスキ・コンチェルト賞、カプリス賞、ソナタ賞、ベートーヴェン・ブラームス作品賞

コンクールとして人生で一番緊張しました。特に、ファイナル。もはや生きているか死んでいるかわからない中で弾いていました。手がどんどん冷えていき、足も震えました。今はひとまず、受賞者コンサートをやり切りたいと思います。20ヵ国・60地域もあるので大変です。東京音楽大学でなかったら今のようにになっていなかったと思います。本当にありがとうございますと伝えたい。東京音楽大学は、音楽大学だからといってプロを目指さなければいけない必要はなく、それぞれが好きなことを見つけて極めている人が本当に多いです。小説を書いている人、ゲーム実況している人、YouTuberをしている人、作曲や編曲をしている人。自分の好きなことを好きなようにやっています。もしみんながソリストを目指しているような環境だったら、ギスギスしていたのではないかと思います。でもそうではないので、すごく仲がいい。先生方には、いい時も悪い時も支えていただいて…。先生と生徒ではなく、人間と人間として支えていただいて、感謝しかありません。



五十嵐 健太

サクソフォーン4年  
(ウクライナ国立チャイコフスキ記念音楽院より転入学)

### 2022年第37回日本管打楽器コンクール サクソフォーン部門第1位、内閣総理大臣賞、特別大賞

器楽の中でも、サクソフォーンのコンクールはあまり多くありません。日本管打楽器コンクールも毎年部門が変わるので、私がロシアの侵攻でウクライナから日本に避難してきた年にサクソフォーン部門が開催されたことは運命的なものを感じました。特に日本のコンクールは多くの日本人と同じように、私にとってとても大切であり、特別なものでした。東京音楽大学に入り、仲間に囲まれ、楽しく練習を続けることができました。波多江史朗先生のレッスンでは、自分の音樂を成長させることができ、とても楽しかったです。先生や多くの友人に支えられ、コンクールで優勝し、大賞をいただけたことを幸せに思っています。これからも真摯に音樂に向き合い、仲間たちと切磋琢磨して自分の音樂を磨いていきたいと思います。私にできることは演奏することなので、音樂の力で人々に幸せを送り、幸せな人々は平和を求めるとして、一日も早く戦火が止むことを望んでいます。

## 東京音楽大学コンクール

学年・コースの枠を越えて、切磋琢磨し、高め合う。

本学主催の東京音楽大学コンクールは、学生の演奏意欲と表現技術の向上を目的として2002年より毎年開催されています。その大きな特徴は、学年やコースの枠を越えて審査が行われること、国際的に活躍している学外の演奏者・指導者の先生方に審査を依頼していることがあります。隔年で、「声楽部門・ピアノ部門」と「弦楽器部門・管打楽器部門」が開催されています。入賞者には賞状と賞金が授与され、今後の音楽活動に生かせるよう個別に詳細な講評も与えられます。これまでの本コンクール入賞者は、その後国内外の数多くの主要なコンクールにも入賞しています。

### ■ 2022年度 第21回 本選結果



#### 【声楽部門】

第1位 老川 鈴唄(学部3年/ソプラノ)  
第2位 矢頭 なみき(学部3年/ソプラノ)  
第3位 榎本 葉々(修士2年/ソプラノ)



#### 【ピアノ部門】

第1位 仁宮 花歌(付属高校2年)  
第2位 美里 芽玖(学部3年)

## 卒業生メッセージ

# 演奏家、教育者、企業人として多くの卒業生が活躍しています。

## 今につなげてくれた大学での学び。

現在、世界各国でコンサート活動をしていますが、在学中に2回挑戦した国際コンクールのおかげで、今につながっています。前学長の野島稔先生をはじめ、鶴見加寿子先生には大変お世話になり、コンクールへのサポートをいただいたことに本当に感謝しています。大学の授業もとても楽しく興味深く、音楽だけでなく教養科目の授業もプロフェッショナルな先生方揃いです。

外国语語の授業では、ロシア語、英語、ドイツ語を学んでいたおかげで、海外に行つても役立っていることを実感しています。欲を言えば、もっと勉強したかったかなと。

駆け足で過ぎ去った大学生活でしたが、多くの友人と出会いにも恵まれ、ともに過ごした時間は貴重な財産となっています。

ピアニスト 藤田 真央

ピアノ演奏家コース・エクセレンス 2020年大学早期卒業



© EIICHI\_IKEDA



© Makoto Kamiya

## 声の成長にいつも寄り添ってくれた先生。

東京音楽大学付属高校から同大学院まで菅有実子教授のご指導の下、学びました。大学で有意義な時間を過ごしたことが、今の自分のベースになっています。声の成長は人それぞれです。音楽をやっているといい時も悪い時もあります。そんな時、いつも先生が親身になって寄り添ってくださったおかげで今も歌を続けることができています。学生時代は、たくさんのコンクールやオーディションに挑戦し、学内外や人前で演奏する場をいただいたことで、自信につながりました。大学には、個性を尊重しながらいろんな音楽性を引き出してくれるような自由な雰囲気がありました。プロフェッショナルな先生方に手厚くバックアップしていただいたおかげで、やりたいことは全力で取り組むことができました。皆さん！大学生活はあっという間ですが、一歩一步自分らしく歩んでいってください。

オペラ歌手 高野 百合絵

2019年大学院声楽専攻独唱研究領域修了／2017年大学卒業

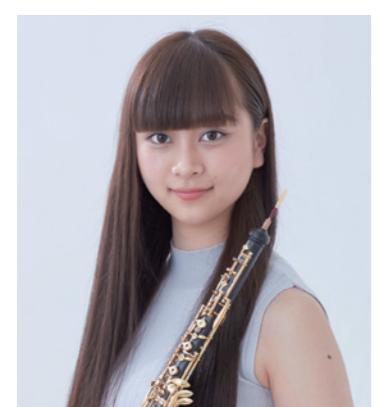


## 音楽のよろこびを見つけ、夢へ踏み出す。

東京音楽大学では、管打楽器の学生は吹奏楽に管弦楽、ソロや室内楽と、いろいろな形態での演奏を披露する機会をいただけます。また学生同士のアイデアにあふれた自主公演も盛んです。一流的な先生方がご指導くださり研鑽してきたことを、さまざまな演奏会やコンクールなどでお聴きいただけたからこそ私は成長できたのだと思っています。よく学び、たくさん練習して、そして挑戦してください。きっと音楽のよろこびを見つけられると思います。東京音楽大学での4年間で、皆さんが夢への一歩を踏み出すことができますように。お互いがんばりましょう！

オーボエ奏者 榎 かぐや

オーボエ 2022年大学卒業



## 人間力を鍛えるレッスンで今の指揮者としての自分がいる。

東京音楽大学での4年間がなければ、今の私はありませんでした。指揮のレッスンは、音楽のことはもちろんですが、自分のことを理解し、社会の中でどうやって生きていくか、いわば人間力を鍛えるレッスンだったように思います。オーケストラというのは、社会の縮図のようなものだと思っています。いろんな考えをもっていて当然。中には真逆な考え方をもっている人もいます。自分と考えが違うからおもしろくないと思うのか、自分と考えが違うからこそもっと知りたいと思えるのかは、大きな違いです。東京音楽大学で日々レッスンに打ち込んだからこそ、考え方の違う人たちのことに興味をもてる人間になりました。そうでなければ、指揮者という職業は務まらないと思いますし、だからこそ今の私があるのかもしれません。

名古屋フィルハーモニー交響楽団 正指揮者  
オーケストラ・アンサンブル金沢 バーマネント・ゲストコンダクター  
札幌交響楽団 正任指揮者

川瀬 賢太郎  
指揮 2007年大学卒業



© Yoshinori Kurokawa

## プロフェッショナルの世界の洗礼を受けた学生時代。

学生時代、私にとって一番ためになったのは、授業で毎週必ず、曲を書く課題に取り組んだことです。プロフェッショナルになると毎日何曲も作り続けなくてはなりません。私は入学直後から曲を締切りまでにコンスタントに作り続けるという「プロフェッショナルの世界の洗礼」を受けていました。在学中は学内でトップクラスの器楽専攻の学生に自分が書いた曲を演奏してもらったり、上手なシンガーを見出してデモテープを作ったりと課外活動も積極的に行っていました。

この世界でやっていく一番の条件は「情熱」です。限りあるこの4年間で、いろいろなチャンスを貪欲にたぐり寄せ、東京音楽大学で学ぶメリットを最大限に利用してほしいと思います。

作曲家 菅野 祐悟

作曲「映画・放送音楽コース」(2021年度より作曲「ミュージック・メディアコース」に統合) 2001年大学卒業



## 音楽から学んだことは、その後の人生でも生きる。

大学卒業後は、京都大学大学院法学研究科で法律を学び、福岡の鴻和法律事務所で弁護士として働いています。東京音楽大学では、著名な演奏家や指導者の公開レッスンなど、本物の音楽を学ぶ機会が溢れています。とても刺激的な授業の連続でした。音楽と真摯に向き合うことは決して容易なことではないのですが、日々努力を積み重ねることにより、自然と「忍耐力」が身についたように感じます。また、常に一度しかない演奏の中でベストを尽くすことによって、「集中力」が磨かれたと思います。音楽も法律も分野は違いますが、どちらもプロフェッショナルな領域です。東京音楽大学というプロフェッショナルな環境で学んだことは大きな自信となっていますし、そこで培われた「忍耐力」と「集中力」は、弁護士としてさまざまな難しい案件に取り組む上で強みになっていると思います。

弁護士 塩崎 智子

ピアノ演奏家コース 2009年大学卒業



## 人生の長いスパンの中で大学4年間を考えてほしい。

私はこの仕事を始めた時に、「本当に音大卒なの？」と言われ、右も左もわからない状況でしたので、もっと大学でたくさんことを学べよかったです。東京音楽大学は、のびのびと学べる自由な校風があって、その中に自分を置いた場合、短期的な目標ではなく、将来どういう風になりたいか、どの方向に進みたいかを俯瞰して、自分の勉強するスタンスを決めてほしいなと思います。人生は長いから、長期的に自分の人生を見て、一つひとつの授業を通して自分の適性もあわせて考えてほしい。そうすれば、この先の人生において音大での4年間がどんな役割を果たすかがおのずと見えてきて、非常に有意義な4年間を過ごすことができると思います。

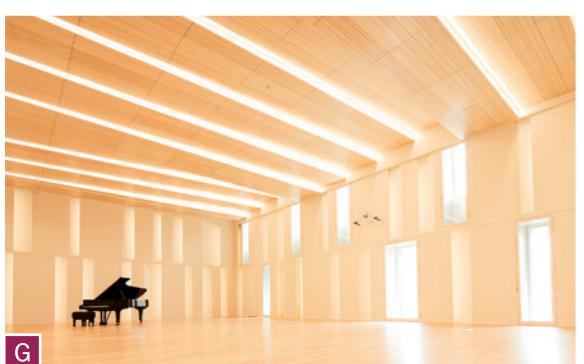
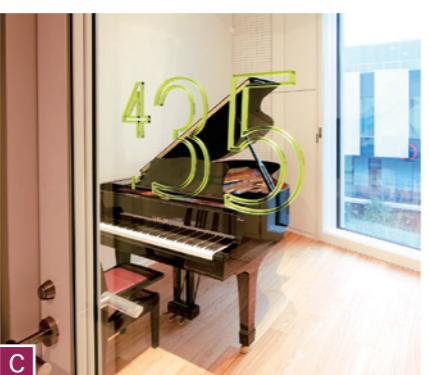
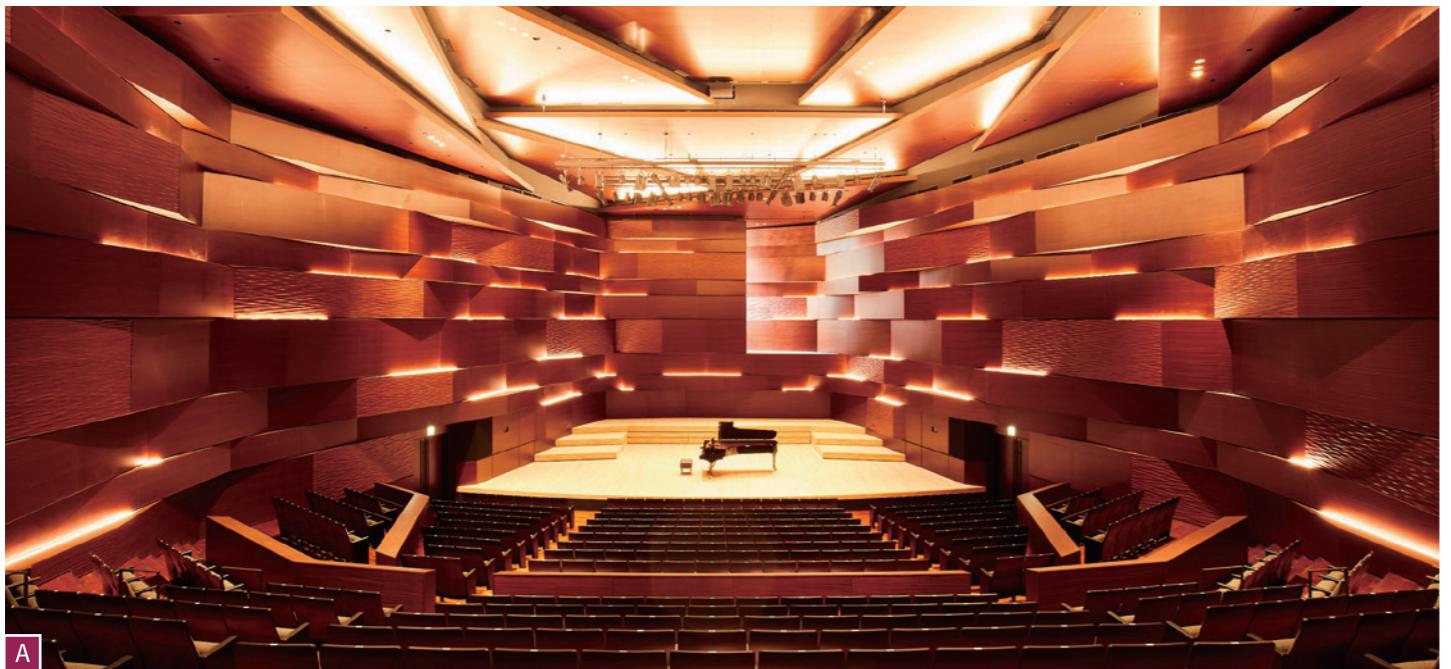
音楽ジャーナリスト 音楽評論家 伊熊 よし子

音楽教育専攻 1972年大学卒業



© 濱田 葵

# 中目黒・代官山 キャンパス



## A TCMホール

音が回遊し包まれるように設計されています。ソロ、デュオはもちろん、室内オーケストラも最適な響きで演奏、鑑賞することができます。

## B レッスン室

80室以上あるレッスン室は、木のぬくもりを感じる最適な音響を備えています。音の反射、拡散、吸音のバランスを考慮した穴あき特殊壁。

## C 練習室

レッスン室同様に最適な音響を備えています。2キャンパス合わせていつでも練習できる部屋数を有し、練習に集中できます。

## D キーボード室

キーボードハーモニーやピアノ・プラクティカル・トレーニングなどの授業が行われています。

## E TCMスタジオ

全専攻の学生が利用できるレコーディングスタジオです。最先端の録音機材を採用しています。

## F コンピュータ室

Apple Macintoshコンピュータを活用した楽譜作成の技術を習得する授業を開講しています。

## G 教室

特大・大・中・小19室あるさまざまなタイプの教室。特大教室は、音楽ホールに近い響きをもち、TCMスタジオと連動して録音が可能。

## H 学生レストラン

「音楽の森」と「みどりの鎌倉街道」に囲まれた、自然を感じる安らぎのあるレストランです。

## I クリエイティブラボ

学生レストランに隣接した、新しい学びを得るための空間。学内イベントや教育プログラムとの連携、コミュニケーションの場でもあります。ガラスで仕切られた自習スペースでは集中して学習に取り組めます。

## J みどりの鎌倉街道

第28回緑の環境プラン大賞特別企画『おもてなしの庭』部門の大賞を受賞。

## K ガレリア

レッスン棟と事務棟を結ぶ渡り廊下からの眺め。



中目黒・代官山キャンパス  
紹介動画

## 池袋キャンパス



### A 100周年記念ホール

806席あるシーボックス型の音楽ホールで、オペラ上演をはじめ、年間多くの演奏会を開催しています。

### B ガレリア

トップライトから自然光が降り注ぐ吹き抜けのガレリアを中心に、周辺にガラスを効果的に用いた練習室を配置した開放的な空間。

### C J館地下レコーディングルーム / DAWルーム

商業音楽分野で必要とされる作編曲技法の修得、スタジオレコーディングなどを学ぶ場所です。2019年に大幅な改修工事を行い、さらに充実した設備環境を実現しました。

### D 教室（ミニホールA200教室）

高度な音響性能を要求される教室が多数配置されています。ミニホール（202席）は教室として講義や公開レッスン、試演会などにも使用されます。

### E B館スタジオ

オランダ製のパイプオルガンを配置したスタジオ。オルガンレッスンのほか、オーケストラや吹奏楽などの授業が行われています。

### F J館

2020年度より付属高等学校が池袋キャンパスに移転したことにより、特色ある高大一貫教育を推進しています。

### G J館スタジオ

演奏会、オペラ上演、公開レッスン、公開講座などさまざまな用途に使用されています。

### H 練習室

二重遮音構造で、思いきり音を出しても校舎内外への影響を極小に抑えられています。個室の練習室以外にも、打楽器や楽器のアンサンブル専用の広い練習室が多数あります。

### I 学生寮（女子寮）

一人暮らしをする学生の福利厚生の充実のため、2022年4月、池袋キャンパス内に新たな学生寮が開寮しました。

### 付属図書館

2024年度にリニューアルオープン予定。



池袋キャンパス  
紹介動画

発行日：2023年5月31日

新専攻  
誕生!

＼ 音大でICTのスペシャリストになろう! /

# 音楽 × ICT

～ビジネスに直結する知と技を～

ミュージックビジネス・テクノロジー専攻(MBT)とは?

2024年度春に誕生する、「音楽」と「ICT(情報通信技術)」を専門的に学ぶ専攻です。現代社会のさまざまなビジネスに直結した、実用的で豊富な学びを獲得できます。

入学試験に、音楽の実技試験なし。

高校までに専門的に音楽を学んでいない方を歓迎します。入学後、曲づくりなどの基礎から学ぶことができます。

プログラミングなどの資格取得が可能。

1年次からのシステムティックな教育カリキュラムを通じ、プログラミングや基本情報技術者などの資格取得レベルまで学べます。

学費の負担を軽減。  
*MacBook Pro支給予定!*

20人の集団授業により、よりリーズナブルな学費で学ぶことができます。



## ミュージックビジネス・テクノロジー専攻 2024年4月開設

※上記内容は一部変更となる可能性があります。詳細はHPにてご確認ください。

# TCM

中目黒・代官山キャンパス(学校法人本部)

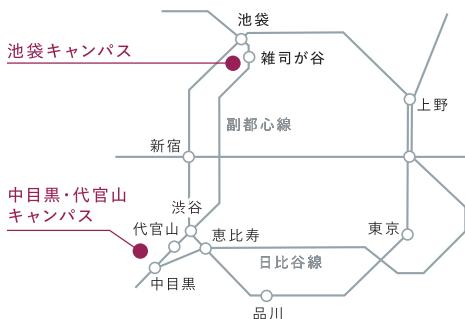
〒153-8622 東京都目黒区上目黒1-9-1  
TEL.03-6455-2700 FAX.03-6455-2770

J R／「恵比寿駅」より徒歩約14分  
私鉄／東急東横線「中目黒駅」・「代官山駅」より徒歩約5分  
地下鉄／日比谷線「中目黒駅」より徒歩約5分

池袋キャンパス

〒171-8540 東京都豊島区南池袋3-4-5  
TEL.03-3982-3186 FAX.03-3982-3183

J R／「池袋駅」東口または「目白駅」より徒歩約15分  
私鉄／西武池袋線・東武東上線「池袋駅」より徒歩約15分  
地下鉄／丸ノ内線・有楽町線「池袋駅」より徒歩約15分  
副都心線「雑司ヶ谷駅」より徒歩約5分  
都電／荒川線「鬼子母神前停留場」より徒歩約3分  
都バス／「南池袋一丁目」より徒歩約3分



<https://www.tokyo-ondai.ac.jp>